

香川県立保健医療大学

年報

2024

目 次

1. 名称・沿革等	1～2
(1) 名称	
(2) 大学の構成	
(3) 所在地	
(4) 沿革	
2. 組織図	3
3. 基本理念・教育目標・3つのポリシー	4～13
(1) 基本理念	
(2) 保健医療学部教育目標	
(3) 看護学科の3つのポリシー	
(4) 臨床検査学科の3つのポリシー	
(6) 保健医療学研究科の基本理念・目的	
(7) 保健医療学研究科の3つのポリシー	
4. 教育内容	14～21
(1) 保健医療学部	
(2) 保健医療学研究科	
(4) 実習施設	
(5) 学年暦	
5. 教職員の状況	22～26
(1) 役職員	
(2) 教職員数	
(3) 教員の研究内容	
(4) 教員の研究業績	
6. 学生の状況	27～31
(1) 入学者選抜試験及び入学者の状況	
(2) 学部・専攻科・大学院在学生の状況	
(3) 出身県別学部学生数	
(4) 令和6年3月卒業生・修了生の進路	
(5) 国家試験の合格状況	
(6) 奨学生の状況	
(7) 学生相談	
(8) 課外活動	
7. 図書館の状況	32
(1) 運営状況	
(2) 図書館資料の整備状況	
(3) 利用状況	
8. 地域との連携・広報・情報公開	33～35
(1) 地域連携推進センター事業	
(2) 公開講座	
(3) 施設開放	
(4) オープンキャンパス	
(5) 高校等への出張講座	
(6) 委員等への就任及び講師等の派遣	
(7) 情報公開	
9. 財務状況	36
(1) 令和6年度 歳入歳出予算	
(2) 外部資金の受け入れ状況	
10. 施設の状況	37～38
(1) 敷地面積	
(2) 建物	
(3) 建物配置図	
11. 研究活動	39～63
12. 管理運営	64～83

名称・沿革等

(1) 名称

香川県立保健医療大学 (平成16年4月開学)

(2) 大学の構成

【保健医療学部】

●看護学科

入学定員: 70人

卒業後に取得できる資格: 看護師国家試験受験資格

●臨床検査学科

入学定員: 20人

卒業後に取得できる資格: 臨床検査技師国家試験受験資格

在学中に取得できる資格: 健康食品管理士認定試験受験資格

(所定科目の履修者)

遺伝子分析科学認定士(初級) 認定試験受験資格

食品衛生管理者・食品衛生監視員任用資格

【保健医療学研究科】

●看護学専攻(博士前期課程)

入学定員: 25人

・研究コース: 5人

・実践者養成コース(公衆衛生看護学): 10人

修了後に取得できる資格: 保健師国家試験受験資格

・実践者養成コース(助産学): 10人

修了後に取得できる資格: 助産師国家試験受験資格

受胎調節実地指導員(看護師資格を有する者)

新生児蘇生法講習会修了認定資格

●看護学専攻(博士後期課程)

入学定員: 2人

●臨床検査学専攻(博士前期課程)

入学定員: 3人

●臨床検査学専攻(博士後期課程)

入学定員: 2人

(3) 所在地

香川県高松市牟礼町原281番地1

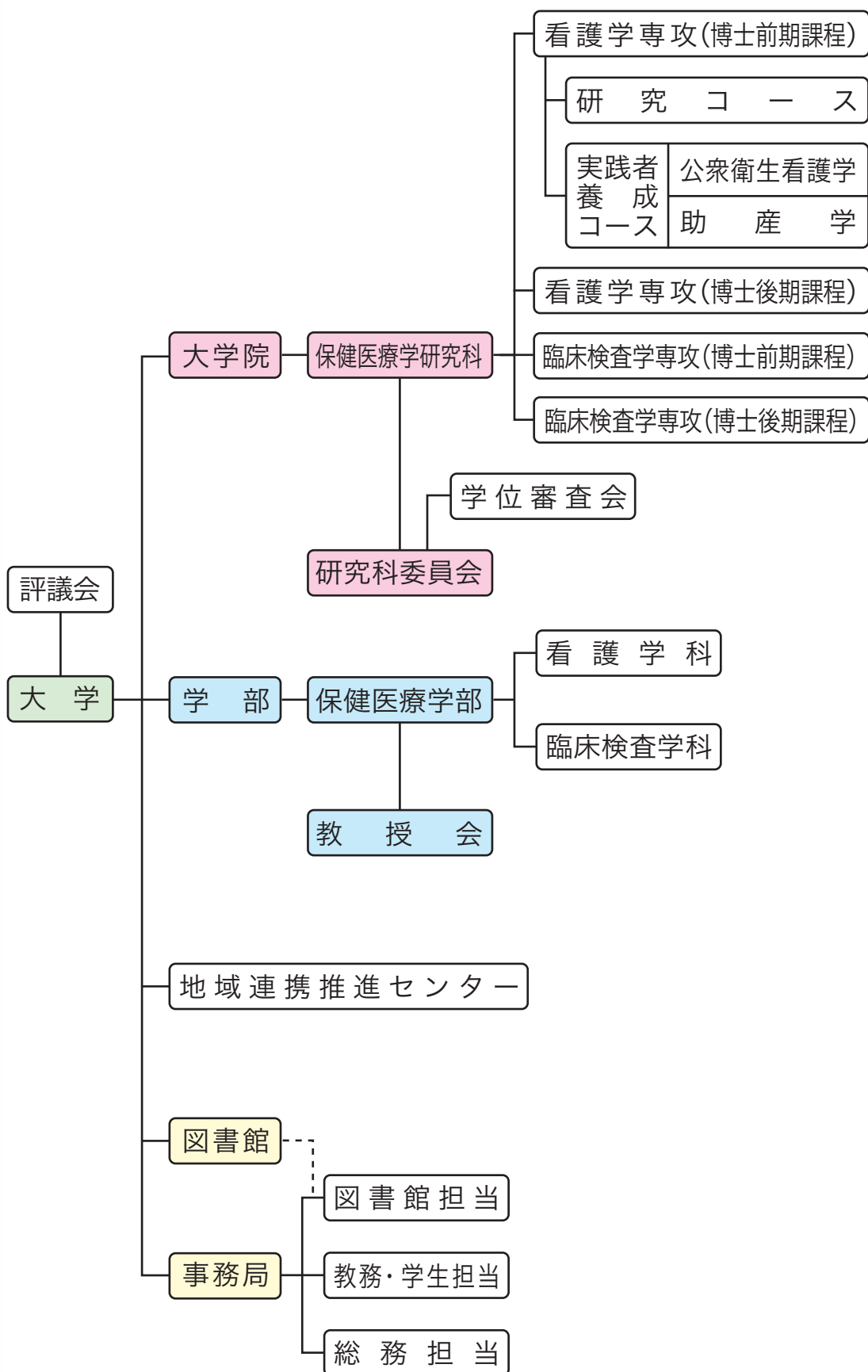
(4) 沿 革

①香川県立医療短期大学

平成 3年 3月	「香川県21世紀長期構想」事業計画で医療従事者の教育機関整備の検討を記述
平成 7年 4月	県立医療短期大学設立準備室設置
10月	県立医療短期大学整備基本構想策定協議会設置
平成 8年 2月	県立医療短期大学整備基本構想策定
12月	牟礼町原地区に設置決定
平成 9年 10月	建築工事起工式
12月	県立医療短期大学設置準備委員会設置
平成10年 4月	文部大臣へ県立医療短期大学設置認可申請
12月	文部大臣設置認可
	県立医療短期大学設置条例公布
平成 11年 4月	県立医療短期大学開学（第1期生入学）
平成 14年 4月	県立医療短期大学専攻科設置
平成 19年 3月	県立医療短期大学閉学

②香川県立保健医療大学

平成 12年 6月	香川県新世紀基本構想で県立医療短期大学の4年制大学への移行について検討を記述
平成 13年 5月	香川県立医療短期大学4年制化検討委員会設置
11月	香川県立医療短期大学4年制化検討委員会提言
平成 14年 5月	大学設置基本構想策定委員会設置
11月	県立保健医療大学設置基本構想策定
	県立大学設置準備委員会設置
平成 15年 4月	文部科学大臣に県立保健医療大学設置認可申請
11月	文部科学大臣設置認可
12月	香川県立保健医療大学設置条例公布
平成 16年 4月	県立保健医療大学開学（第1期生入学）
平成 20年 3月	県立保健医療大学第1期生卒業
平成 21年 4月	県立保健医療大学大学院保健医療学研究科（修士課程）設置
	保健医療学部看護学科入学定員を50名から70名に増員
平成 23年 3月	大学院保健医療学研究科第1期生修了
4月	大学認証評価機関から「大学基準に適合している」との認定を受ける
	地域連携推進センターを設置
平成 24年 4月	助産学専攻科を設置
	看護学科学部教育に保健師選択制導入
	看護学科3年次編入学制度の廃止
平成 25年 4月	大学院保健医療学研究科に専門看護師コース（精神看護）を設置
平成 29年 4月	大学院保健医療学研究科保健医療学専攻（修士課程）の学生募集停止
	大学院保健医療学研究科に看護学専攻（修士課程）、臨床検査学専攻（博士前期課程）及び臨床検査学専攻（博士後期課程）を設置
平成 31年 4月	大学院保健医療学研究科に看護学専攻（博士前期課程）及び看護学専攻（博士後期課程）を設置
令和 2年 4月	看護師基礎教育の4年制を開始
令和 4年 4月	大学院保健医療学研究科看護学専攻博士前期課程に実践者養成コース（公衆衛生看護学）及び（助産学）を設置
令和 5年 3月	助産学専攻科廃止



(1) 基本理念

香川県立保健医療大学は、生命の尊厳を畏敬する深い人間愛を基盤として、教育、研究、地域貢献を推進します。

生涯にわたる知の探究と自己の能力を開発していく力を有し、地域の保健医療をリードする人材を育成します。

国際的視野を有し、保健医療の発展に寄与する先駆的研究を進めます。

地域のニーズに応える保健医療に関する情報発信や教育研究拠点として活動します。

これらを通じ、「県民に一目置かれる大学」として、人々の健康で心豊かな未来を拓きます。

(2) 保健医療学部教育目標

- 1 高い倫理観と教養を備えるとともに、深い人間愛に基づいて生命の尊厳を重んじることができ人間性豊かな人材を育成する。
- 2 看護学・臨床検査学に関する専門的知識・技術に基づいた総合的判断力を備え、実践することができる人材を育成する。
- 3 科学的思考力に基づいた豊かな創造性と探究心を持ち、生涯にわたり自らの能力の向上に努め、社会環境の変化や医療の高度化・多様化に適切に対応できる人材を育成する。
- 4 保健・医療・福祉における他の専門職と連携協働して、自らの役割と社会的使命を果たすことができる人材を育成する。
- 5 地域や国際社会の特性や問題を広い視野で理解し、多様な保健・医療・福祉の課題に適切に対応し、保健医療の向上に主体的に貢献できる人材を育成する。

(3) 看護学科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

看護学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士（看護学）の学位を授与する。

- 1 一人ひとりの人間を総合的に理解し、互いに成長し合える関係形成ができる基礎的能力を身に付けている。
- 2 人の尊厳と権利を擁護する看護について探究し、倫理的判断に基づいて行動できる基礎的能力を身に付けている。
- 3 看護の対象と状況を的確にアセスメントし、根拠に基づく看護が実践できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 看護の実践・研究・教育の場で、将来、論理的に課題を探究し対応できる基礎的能力を身に付けている。
- 5 看護の対象を取り巻く保健・医療・福祉チーム員の役割を理解し、人々と連携協働しリーダーシップが発揮できる基礎的能力を身に付けている。
- 6 常に変化する社会に関心を寄せ、地域における看護の課題を探究し、新たな看護を創造できる基礎的能力を身に付けている。
- 7 看護を学ぶ自分と真摯に向き合い、看護専門職として誇りと責任をもって実践し成長し続ける基礎的能力を身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

看護学科では、ディプロマ・ポリシーの実現を目指して、以下の方針（考え方）でカリキュラムを編成する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 看護学の学修が、基礎から応用および専門に向けて、段階的に積み上がるように科目編成するとともに、看護学周辺領域の学修が、看護学の学修に関連づけられるように科目を設定し配置する。

全科目は、＜基礎科目群＞と＜看護専門科目群＞に大きく区分する。

＜基礎科目群＞は、「自然」「人間」「社会」「情報」「外国語」「健康」に区分する。

＜看護専門科目群＞は、「看護学総論」「看護技術論・臨床推論」「看護過程論」「健康レベル別看護論」「発達段階別看護論」「メンタルヘルス看護論」「地域・在宅看護論」「看護発展論」「看護学実習」「看護ゼミナール・看護研究」に区分する。

- 2 看護実践能力が4年間で「基礎－応用－統合」と着実に獲得できるように看護学実習を配置する。

1年次前期から「看護学導入実習」（1週間）によって看護を学ぶ動機づけを図り、2年次修了までに看護実践能力の基礎形成が確実になるように「看護技術論実習」（2週間）と「看護過程論実習」（4週間）を配置する。

3年次は、対象と場の特性に応じて展開できる看護実践能力に発展させるために「発達段階別看護論実習」（母性、小児、老年を各2週間）と、「メンタルヘルス看護論実習」（2週間）「在宅看護学実習」（2週間）を配置する。

4年次は、これまでに獲得してきた知識・技術と経験を「健康レベル別看護論実習」（3週間）と「看護学総合実習」（3週間）に統合させる。

- 3 1年次から4年次までの看護学実習前後に演習を配置し、看護師が行う「臨床推論・臨床判断」について事例を使って学修し、他の演習および実習の学びと統合させながら「根拠に基づく基礎実践能力」の獲得につなげる。演習は、学年を超えた学生同士・教員・臨床看護師の構成で行い、「連携協働する能力」「成長し続ける能力」の獲得につなげる。
- 4 地域貢献への志向性を培うために、1年次から、地域包括ケアと看護の役割拡大への関心及び理解が段階的に深まるように科目設定を行い、3年次以降に、「連携協働する能力」と「地域の看護を創造する能力」に発展させる。さらに、学生が主体的に、県内外の地域で暮らす人々に対する健康ボランティア活動を計画して実施する「地域健康サポーター実習」を2年次～4年次の自由時間内で実践する。
- 5 学生の自律性と創造性が発揮できるように、自己学修、グループ討議、発表会など多様な学修形態を採り入れるとともに、個人およびグループによる学修時間が確保できるように科目時間数設定と時間割編成を行う。

また、1年次「看護ゼミナールⅠ」で課題探求能力の基礎作りを行い、3年次「看護ゼミナールⅡ」と、4年次「看護研究」の課題探求能力の発揮につなげるようにする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 科学的思考力を発展させる基礎学力を有している人
- 2 人間に関心があり、人との関わりに喜びを感じる人
- 3 状況判断ができ主体的に行動できる人
- 4 地域の看護実践の発展に貢献したい人

(4) 臨床検査学科の3つのポリシー

①ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

臨床検査学科では、以下に示された能力を卒業までに修得することを重視して成績評価を行い、所定の単位を修得した学生に対して、卒業を認め、学士（臨床検査学）の学位を授与する。

- 1 豊かな人間性と高い倫理観を身に付けている。
- 2 臨床検査に必要な専門的な知識・技術と実践能力を身に付けている。
- 3 臨床検査学発展のために、自らの能力の向上に努め、データ管理力や科学的思考力を用いて研究できる基礎的能力を身に付けている。
- 4 国際感覚を備え、臨床検査を通して、地域社会に広く貢献できる能力を身に付けている。
- 5 医療・環境・食品・保健分野などで、他職種と連携しながら、幅広く活躍できる能力を身に付けている。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

臨床検査学科では、ディプロマ・ポリシーの実現を目指して、以下の方針（考え方）でカリキュラムを編成する。

進級に関しては、各学年で定められた単位を修得する必要がある「進級制」を採用する。

- 1 臨床検査学修の効率化を目指して、基礎科目群から臨床検査専門科目群へと積み上がる科目構成とする。また、臨床検査に関連する領域の学修も含め、社会において幅広く活躍できる能力も培える科目配置とする。

全科目は、＜基礎科目群＞と＜臨床検査専門科目群＞に大きく区分する。

＜基礎科目群＞は、「人文科学」、「社会科学」、「自然科学」、「外国語」、「情報科学」、「健康科学」、「総合科目」及び「専門基礎」に細区分している。

＜臨床検査専門科目群＞は「分析検査学」、「形態検査学」、「検査情報解析検査学」、「総合検査学」、「臨地実習」に細区分している。

- 2 基礎科目群として、高い倫理観をもつ豊かな人間性を養うために哲学、倫理学などの人文科学系科目と、社会学、経済学などの社会科学系科目を配置し、さらに高等学校での学習内容を確認し、専門領域への橋渡しとする目的で、物理学、化学、生物学などの自然科学系科目と生理学、生化学などの専門基礎科目を配置する。また、情報化社会への対応のために検査データ管理に必要な情報科学を配置した。国際的視野を持って活動できる人材育成のため、英語と中国語を配置しており、特に、英語学習では、基礎英語、英会話、医療英語、文献などの読解力を養う。これらに加えて、地域の健康活動に貢献できる人材の養成を目指して、健康科学科目と教養講座・香川を配置する。さらに、専門基礎科目は、健康、疾病、病態を広く理解するとともに、人体の構造と機能を系統的に理解し、臨床検査についての専門知識、技術、医療チームとしての役割、他職種との連携を学修する目的で科目を構成し、医療機器の取り扱いに重要な医用電子工学・医用電子工学演習を配置している。また、国際的視野を広げるために国際保健論を設け、他職種との連携能力を修得するために、組織論と地域チーム医療論を配置している。
- 3 臨床検査専門科目群は、専門的知識・技術、科学的思考と研究能力を修得するため、検査結果や実験結果を総合的・多角的に判断分析、管理運営する基礎的能力及び検査技術を修得する目的で科目構成する。早期に学習への興味やモチベーションを高めることを目的として、検査学概論、臨床検査体験実習、臨床医学Iなどの科目を配置している。また、医療の高度化や安全管理・社会環境の変化に対応すべく、検診検査学、生殖補助

医療技術論、リスクマネジメント、健康食品学などの科目も履修可能であり、臨床検査技師の業務範囲の拡大内容についても修得できるように、医療安全管理学を中心に学内実習・演習を充実させている。

臨地実習は、臨地実習ガイドラインをもとに、実習施設との綿密なプログラム確認を行うことにより、総合的実践能力を高められる内容の科目編成とする。医療機関等で具体的・個別的に臨床検査業務や多職種連携業務等を実践することで、医療従事者として必要とされる倫理観や責任感の修得も目指す。一方、臨地実習前には、各領域の学内実習科目において臨地実習到達度評価を実施し、実習に必要な知識、技能や接遇能力を習得しているのかの確認を行い、臨地実習を行うことが可能な水準に達しているかの能力評価を行う。

さらに、卒業研究は、少人数制で実施することで、科学的思考力、研究能力、及びデータ管理能力が高められる指導を行う。また、所定科目履修者は在学中に、健康食品管理士、遺伝子分析科学認定士及び食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格取得が可能な科目体制を設けている。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 論理的思考に必要な基礎学力を有している人
- 2 責任感と協調性があり、主体的に行動できる人
- 3 知的好奇心が旺盛で、科学的な観察力を持つ人
- 4 臨床検査技術を基盤に、地域の多様な分野で活躍したい人

(5) 保健医療学研究科の基本理念・目的

人々の健康と自立の支援を基本理念として、保健医療の分野においてより高度で専門的な学術理論及び実践能力を修得するとともに、包括的な判断能力と指導力を有する高度専門職業人を育成することにより、保健・医療・福祉が連携した質の高い総合的サービスを提供し、高度な専門知識を持ち、新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力を持つ教育者・研究者を育成することにより、地域の保健医療の質向上、人々の健康増進、ひいては、健康長寿社会の推進や次世代育成支援に寄与する。

(6) 保健医療学研究科の3つのポリシー

看護学専攻

①ディプロマ・ポリシー（修了の認定に関する方針）

◆博士前期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文（課題研究論文）を作成し、保健医療学研究科看護学専攻が行う修士論文（課題研究論文）の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に修士（看護学）の学位を授与する。

【研究コース】

- 1 研究課題を探究し、研究目的に応じた方法を用いて成果を生み出す能力を有する。
- 2 看護の実践と研究において、倫理的判断と行動が遂行できる能力を有する。
- 3 専門領域の研究知見と看護実践の動向を把握し、批判的に検討し統合する能力を有する。
- 4 他者との討論を通して、自己と他者およびチームの成長につなげる能力を有する。

【実践者養成コース】

・公衆衛生看護学

- 1 地域における健康と QOL の向上及び社会の安寧に寄与することを使命とし、専門職業人としての責務を果たせる知識・技術・態度を生涯にわたり研鑽し続けるプロフェッショナルとしての能力を有する。
- 2 地域や地域住民を対象として包括的視点で的確にアセスメントとし、科学的根拠に基づいた公衆衛生看護実践ができる能力を有する。
- 3 公衆衛生看護学を探究するとともに、地域における実践課題を見出し、課題解決に向けて研究を遂行する能力を有する。
- 4 地域における健康と QOL の向上や地域社会の安寧を目指し関係機関・関係者と連携・協働体制を構築して地域社会の変革を推進する能力を有する。
- 5 急速に変化する社会状況に対して、保健師に求められる役割を認識し、地域社会の発展に寄与できる能力を有する。

・助産学

- 1 助産師としての高い倫理観を持ち、高度な専門職として対象者のニーズに対して応答できる能力を有する。
- 2 安全で対象者に満足のいく助産ケアの提供のために、科学的根拠に基づいた自律した助産実践を行う能力を有する。
- 3 助産実践を変革させるうえでの課題を見出し、解決に向けて研究を遂行する能力を有する。
- 4 助産学領域の実践上の課題に向けてマネジメント力を発揮し、組織および多職種と連携・協働できる能力を有する。
- 5 社会の動向を踏まえ地域の母子保健活動を推進するために、全ての女性、乳幼児、家族の健康増進に向けて支援できる能力を有する。

◆博士後期課程

看護学専攻博士後期課程に3年以上在籍し、専門共通科目（必修）6単位、専門科目（選択）2単位、演習科目（必修）2単位、特別研究科目（必修）6単位の合計16単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格することとし、加えて、博士論文に関する副論文1編を、査読制度のある学術雑誌に単著又は共著筆頭の原著論文、研究報告、総説のいずれかとして発表すること（印刷中の論文については、その旨を記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）とする。これらの要件を全て満たす者に博士（看護学）の学位を授与する。

単位認定および論文審査にあたっては、以下の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づいて厳格かつ適切な評価を行う。

- 1 専門領域における独創的な研究を行い、新たな看護の知を創造する能力を有する。
- 2 科学的考察や議論を深めて、新たな看護の見解を論述する能力を有する。
- 3 自らの研究について、その真価を問うために社会に発信する能力を有する。

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◆博士前期課程

【研究コース】

専門共通科目16単位以上（必修6単位、選択10単位以上）と専門領域科目4単位以上、特別研究10単位で編成する。

専門共通科目は、広い視野で看護実践やその課題を捉えられる看護研究の基盤となる12科目「先端医学論」「チーム医療特論」「保健統計学特論」「生命・医療倫理論」「英文作成概論」「看護理論」「看護と哲学」「質的研究方法論」「量的研究方法論」「地域包括ケア特論」「看護政策特論」「看護教育学特論」を配置する。

専門領域科目は、看護実践の探求と基礎的研究能力を育成するために各専門領域において「特論」「演習」「特別研究」を配置する。

専門領域は、「基盤開発看護学領域」「地域看護学領域」「精神保健看護学領域」「療養支援看護学領域」「次世代育成看護学領域」の5領域で構成し、看護実践の質の向上と変革をめざす。

- 1 基盤開発看護学領域では、あらゆる看護の対象と場における共通基盤である「看護専門職として成長・発展」および「エビデンスに基づく看護」について探求する。
- 2 地域看護学領域では、地域における今日的課題を考察すると共に、地域で生活する個人・家族・集団および地域を対象とした看護実践において、生活の質の向上に貢献できる看護実践力や方策を探求する。
- 3 精神保健看護学領域では、メンタルヘルスに健康問題を持つ本人と家族を取り巻く人々が、その人らしい生活が生き生きと送れ、生活の質の向上を支援する看護実践を探求する。
- 4 療養支援看護学領域では、疾患や加齢により療養しているあらゆる健康レベルの本人や家族を対象として、臨床における対象者の生活の質を高める看護実践・開発を探求する。
- 5 次世代育成看護学領域では、次世代を育成する看護の観点から、周産期の妊産褥婦を含め広く女性を対象とした健康支援や子どもや家族の発達支援を探求する。

特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学習に連動した研究を遂行し、専門性を深く探求した修士論文を完成とする。

【実践者養成コース】

・公衆衛生看護学

(1) 公衆衛生看護実践能力の育成（基礎—応用）

個人、家族、集団、地域の関連を理解し、理論と実践を連動する公衆衛生看護実践力を育成する。個別の健康課題から集団の健康課題、地域の健康課題へと視点を個別から集団、地域へと拡大するとともに包括的アセスメントが根拠に基づいてできる公衆衛生看護実践力が身につくように、4種類の実習を段階的に配置する。

- ①1年前期に公衆衛生看護実践能力の基礎となる知識・技術・態度を学修し、それを応用して実践力を身に付けるために「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」を1年次後期に配置し、地域診断と公衆衛生看護展開過程を学ぶ。
- ②1年後期から2年前期にかけて、「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」が終了した後、「地域包括ケア実習Ⅰ」を配置し、乳児のいる世帯1例を受け持ち自律した個別支援能力を身に付け、個別支援から家族支援さらに地域づくりへと発展する過程を学修する。1年間継続した訪問実習することで関係形成や個別のマネジメント、更に地域マネジメントへの展開について段階的に実践力を身につける。
- ③2年前期に「地域包括ケア実習Ⅱ」を配置し、これまでの実習経験を活かし（応用）、小豆島をフィールドとして、地域特性を把握した上で健康危機管理を視点として地域診断を行い、地域住民が安心して暮らせる地域を目指し、既存の地域包括ケアシステムを再検討し、関係機関や関係者と連携、協働するマネジメントの実際を学ぶ。

(2) 研究力（研究的思考・手法）の育成（基礎—応用）

- ①1年前期に、看護研究の基礎となる科目を学習し、研究的思考・手法を理解する。

②1年後期に基礎的知識を「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」または「地域包括ケア実習Ⅰ」の実習において応用し公衆衛生看護実践の課題を探究する。

(3) 公衆衛生看護実践と研究的思考・手法の統合（統合）

①公衆衛生看護学特論。演習において「公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ」や「地域包括ケア実習Ⅰ」での公衆衛生看護実践の課題を探究し、研究的思考・手法を活用して実践の課題を研究課題へと洗練し、2年前期に研究計画書を作成する。

②研究計画書に基づいて、データ収集し分析する課題研究過程を学修し、その結果から公衆衛生看護実践（実習）上の課題解決に反映する研究過程を学習し、実践と研究を統合した成果として課題研究論文を作成する。

・助産学

助産学では、責務遂行能力、助産実践能力、課題探求解決能力、連携・協働力、地域貢献力を修得できるように課題研究科目、専門共通科目、専門領域科目（実践コース共通科目を含む）に加えて、助産師国家試験受験資格取得に必要な科目を以下のような共通方針に基づいて配置している。

- (1) 助産実践上の知識、技術、専門職としての態度の修得レベルをあげるため、ローリスク妊婦ケアと10例以上の正常分娩介助後、経験した事例をもとにシナリオを作成し、徹底したシミュレーション学習を行う。
- (2) 周産期の臨床思考を身につけるために段階的に助産実践能力の客観的評価を実施する。知識、技術、態度の目標到達レベルの確認のために実習前：助産実践能力の客観的評価と実習後：助産実践能力の客観的評価および修了前：助産実践能力の客観的評価を行う。
- (3) 妊娠・分娩・産褥・育児期を継続して支援する能力を養うため、1年次から実習を設置し、継続事例のうち1例は1年間受け持つ。
- (4) 高度な周産期母子医療に対応した実践能力を修得するために、ハイリスク妊産褥婦ケアを含めた特論や演習科目を強化する。
- (5) 研究科における研究方法論（量的研究・質的研究）や看護理論、英論文作成概論等を1年次から履修できるようにし、研究を行うための基礎的知識を活用し、仮説を構築、検証することや、実践上の課題を解決できるようにする。
- (6) 公衆衛生看護学との合同科目の履修により、課題探究、多職種連携・協働についての実践を学ぶことができるようにする。
- (7) 香川県の課題を把握するため、香川県全域で実習を行い、地域包括医療・ケアについて学ぶ機会をつくる。

◆博士後期課程

以下の4項目を教育方針（カリキュラムポリシー）として定め、体系的で適切な教育課程を編成する。

- 1 博士後期課程における看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。
- 2 教育課程は、研究の基盤的知識を養う「専門共通科目」、看護学特別研究につながる「専門科目」と「演習科目」、博士論文を完成させる「特別研究科目」の4つの科目群で構成する。
- 3 「専門科目」の特論、「演習科目」の特別演習の学修を体系的に履修するコースワークが、「特別研究科目」のリサーチワークに統合するように科目を配置する。
- 4 授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◆博士前期課程

博士前期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 生命の尊厳を畏敬する深い人間愛と洞察力をもつ人
- 2 看護の課題を科学的に探究し、エビデンスを活用する専門性をもちリーダーシップの発揮を志す人
- 3 看護実践や教育・研究に対する真摯な構想力や想像力、実践力を高めようとする人
- 4 看護学の発展に寄与できるアイデンティティを形成し、知識基盤社会の発展を目指して真理の追究を志す人

◆博士後期課程

実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自立した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の看護実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。これによって、地域の看護の質向上及び県民の健康と福祉に寄与する。

この教育目的を達成するために、以下の3項目を受け入れ方針とする。

- 1 専門領域の深い知識と看護研究の基本的能力をもち、看護実践の向上と変革に貢献する独創的な研究に取り組める「論理的思考力」と「柔軟な発想力と創造性」を有している人
- 2 地域の看護実践の向上と変革に使命感をもち、研究成果に基づく政策提言ができる組織的指導者を目指したい人
- 3 看護学の発展に貢献する意志をもち、看護学の研究を創造的に推進できる教育者を目指したい人

臨床検査学専攻

①ディプロマ・ポリシー（修了の認定に関する方針）

◆博士前期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で修士論文を作成し、本研究科が行う修士論文についての研究の成果の審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に臨床検査学の修士学位を授与する。

- 1 国際専門誌の読解力を備え、全国学会でも研究を発表する能力があること。
- 2 研究テーマに自主性や独創性があり、研究仮説の立案から実証までのすべての過程の説明能力を有すること。

◆博士後期課程

修了要件となる単位を修得するとともに、必要な研究指導を計画的に受けた上で、主論文（1編）を英文で作成し、査読制度のある国際又は全国学会誌に投稿、査読を経て単著又は共著筆頭の原著として発表する（印刷中の論文については、その旨記入し、アクセプトされたことが分かる証明書を添付する）。なお、主論文に関連する副論文（申請者が筆頭著者・共著者に入っている論文）の添付が望ましい。論文審査及び最終試験に合格し、下記の条件をすべて満たす者に臨床検査学の博士学位を授与する。

- 1 臨床検査学領域における問題を発見し、解決に導く能力を有し、自ら研究仮説の立案、研究の遂行、仮説の実証ができること
- 2 自らの研究について、社会への説明能力があり、国際又は全国学会誌に研究成果を発表できること

②カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

◆博士前期課程

臨床検査学専攻は、病態機能検査学及び病因解析検査学の2領域で構成する。

専門共通科目 12 単位以上（先端医療学、保健医療福祉論、チーム医療特論の必修6単位、選択6単位以上）、専門領域科目8単位以上（選択した特別研究が属する領域科目から特論2単位及び演習2単位、さらに他の領域科目も含め4単位以上）、特別研究 10 単位の合計 30 単位以上を修得する。

- 1 病態機能検査学領域では、神経系、循環器、呼吸器、腎機能など種々の生理機能検査や病理学的・細胞学的検査に基づく病態の解析法について、より専門性を深め、病態を解析・診断するための臨床検査学について学修する。
- 2 病因解析検査学領域では、病原微生物、生態防御に関わる免疫系、生体の代謝に重要な生化学的マーカー、遺伝子・染色体及びその関連物質等、病気を引き起こす要因について、より専門性を深め、病因を解析するための臨床検査学について学修する。
- 3 食品などの健康科学分野において、科学的な検証システムの構築などを通して人々の健康志向への対応や、社会医学分野における保健医療福祉に貢献できる方法について学修する。
- 4 膨大な量の検査情報を効率よく管理し、病態解析や病因解析に有効に利用するための検査情報管理法や検査部の管理運営法についても専門性を深め、検査部門における管理指導的役割について学修する。
- 5 特別研究は、研究課題となる専門領域科目の特論と演習における学修に連動した研究を遂行し、専門性を深く探究した修士論文を完成とする。

◆博士後期課程

保健医療学研究科の教育研究理念、臨床検査学専攻の教育目的に則って、臨床検査学の学術的基盤に基づいた高度な専門性と学際性とのバランスを図り、研究領域における教育・研究の深化と発展を目指し、さらにこれを科学的に究めて新規かつ独創的な研究成果を発信できる人材、すなわち、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、更に科学的検証能力を備えた人材を育成するために、以下のような方針に基づいてカリキュラムを編成する。「専門共通科目」、「専門科目」と「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で構成し、「専門共通科目」は、1年次の前期に、臨床検査に関する幅広い研究テーマの研究課程における研究方法論を学修する1科目（「臨床検査学研究方法論」）を必修科目として、「専門科目」は、後期に高度医療専門職に必要とされる能力の獲得を目指し研究領域の教育研究について学修する4科目（「病原因子解析検査技術論」、「病理病態検査技術論」、「神経生理機能検査技術論」、「遺伝子検査技術論」）を選択科目として、それぞれ配置する。「専門共通科目」必修2単位、「専門科目」選択2単位以上の計4単位以上の修得とする。さらに個々の研究テーマについて独創的な視点から、研究仮説及び計画の立案、実験・解析・考察、仮説の立証を通して学位論文を完成させる。「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、3科目6単位の必修科目として配置する。

- 1 「臨床検査学研究方法論」は、臨床検査に関する幅広い視野を有する教育者・研究者を育成するために、臨床検査に関する幅広い研究テーマに関する質の高い国際専門雑誌の英語論文抄読を行い、仮説の立案から仮説の科学的な検証に至るまでの研究課程における研究方法論について学修する。
- 2 「病原因子解析検査技術論」は、細菌感染症に対して抗菌薬を用いない全く新しい治療法の開発に繋げるための宿主・病原微生物相互作用研究やⅢ型分泌機構研究について

学修する。

- 3 「病理病態検査技術論」は、消化器癌や乳癌等における癌の分子病理細胞診断に必要な技術と知識を深め、細胞接着因子の発現と上皮間葉転換による癌の浸潤、転移、悪性度に関する分子機構の解析について学修する。
- 4 「神経生理機能検査技術論」は、神経変性疾患における活性酸素の役割や天然化学物質の生体内情報伝達機構への影響とその作用機序について学修する。
- 5 「遺伝子検査技術論」は、遺伝子検査技術、遺伝学の基礎知識を更に深め、効率的な遺伝子検査の開発や遺伝子情報に関する情報リテラシーについて学修する。
- 6 「臨床検査学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、必修の3科目6単位とし、開講は通年、年、1年次はⅠ、2年次はⅡ、3年次はⅢを配置し、それぞれ研究過程並びに博士論文作成過程の進度別に明示した3段階の到達水準を達成して進む順序性を設定する。満たない場合は、学修期間は4年、5年と延長する研究指導体制とする。
- 7 専門的な研究を深化させるための「学術セミナー」を各年次に実施する。「学術セミナー」では、院生が特別研究や博士論文作成過程での課題を発表し、院生間並びに教員と院生間において相互に討論を重ね、多様な観点からの専門的な研究並びに学際的な観点からの研究の深化を図ることを目的とする。また、特色として、専門分野における豊かな学識を有する者を招聘しグローバルな視点から、教育・研究への動機づけが得られる教育研修を企画し、多様な観点から専門的な研究指導と学際的な研究指導が受けられる体制とする。

③アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

◆博士前期課程

臨床検査学専攻博士前期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
- 2 臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
- 3 臨床検査学の領域におけるさまざまな課題についてリサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
- 4 新たな臨床検査技術の開発に向けた研究を行いたい人

◆博士後期課程

臨床検査学専攻博士後期課程では、基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求める。

- 1 臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
- 2 臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人
- 3 基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人
- 4 臨床検査学領域における教育者・研究者を目指す人

(1) 保健医療学部

①看護学科

看護学科では、人の尊厳の擁護と科学的思考力を中核とする看護実践能力を身につけ、看護専門職として地域の人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する、自律性と創造性が発揮できる人材の育成を目指している。

＜基礎科目群＞は、人間の本质と生命の尊厳を学び、豊かな人間性と倫理観を醸成するとともに、課題を見出して学問的探求を行い、主体的に問題解決できるための基礎的能力を身につける科目群である。この科目群は、教育目的に示した『人の尊厳、科学的思考、人の健康と生活の基盤形成』を担うため、自然・人間・社会・情報・外国語・健康に区分し科目を配置する。

＜看護専門科目群＞は、『確かな看護実践能力を身につけ、看護専門職として地域の人々の健康で幸福な生活の実現に貢献する』ために、看護学の専門的知識・技術を基礎から応用へと段階的に学修する科目群であり、以下に区分する。看護学実習は、看護実践能力が4年間で「基礎－応用－統合」と着実に獲得できるように配置、また1年次の「ゼミナール」で課題探求能力の基礎を作り、3年次「看護ゼミナールⅡ」、4年次「看護研究」へと課題探求能力の発揮につなげる。

授業科目

(令和6年4月1日現在)

基礎科目群	自 然	生物学、化学、物理学
	人 間	教育学、心理学、哲学、健康科学、健康スポーツ、障がい論、生命倫理
	社 会	社会学、法学、経済学、史学、文化人類学、医療倫理学、社会保障論
	情 報	情報リテラシー、看護情報学、看護統計
	外 国 語	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ
	健 康	人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳ、疾病と治療Ⅰ～Ⅴ、病理学概論、臨床薬理、臨床栄養、医療とME機器、臨床心理学、臨床検査ラボラトリー
看護専門科目群	看 護 学 総 論	看護学概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護教育、看護管理
	看護技術論・臨床推論	看護技術論Ⅰ～Ⅵ、総合看護技術演習Ⅰ・Ⅱ、臨床推論演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	看 護 過 程 論	看護過程論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ
	健 康 レ ベ ル 別 看 護 論	プライマリーヘルスケア、慢性期ケア、急性期ケア、リハビリテーション看護、緩和・エンドオブライフケア、健康レベル別看護技術演習
	発達段階別看護論	成人看護学概論、老年看護学Ⅰ・Ⅱ、母性看護学Ⅰ・Ⅱ、小児看護学Ⅰ・Ⅱ
	メンタルヘルス看護論	精神保健看護学Ⅰ・Ⅱ
	地域・在宅看護論	地域看護学Ⅰ・Ⅱ、離島看護学Ⅰ・Ⅱ、在宅看護学Ⅰ・Ⅱ、地域包括ケア論
	看 護 発 展 論	家族看護、がん看護、チーム医療、看護における代替療法、訪問看護論 看護政策論、災害看護、看護職のメンタルヘルス、地域保健論 リプロダクティブ・ヘルス、異文化看護
	看 護 学 実 習	看護学導入実習、看護技術論実習、看護過程論実習、在宅看護学実習 発達段階別看護論実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、メンタルヘルス看護論実習 健康レベル別看護論実習、看護学総合実習、地域健康サポーター実習
	看護ゼミナール・看護研究	看護研究方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、看護ゼミナールⅠ・Ⅱ、看護研究

②臨床検査学科

本学では、臨床検査学学修の効率化を目指して、基礎科目群から臨床検査専門科目群へと積み上がる科目構成とする。また、臨床検査に関連する領域の学修も含め、社会において幅広く活躍できる能力も培える科目配置とする。臨床検査の総合的な実践能力を修得するため、臨床検査学体験実習、基礎検査技術学演習をはじめ、多くの専門科目の実習や臨地実習を行っている。

また、医療の高度化・多様化に対応するため、先端医療技術学、臨床遺伝子検査学、生殖補助医療技術論など、幅広い高度な技術を学習するとともに、保健・医療・福祉の分野で活躍できる基礎的能力を習得するため、環境・食品検査学実習、健康食品学、食品衛生学、薬理学、地域チーム医療論、検診検査学、リスクマネジメントなどについても受講できる体制をとっている。

さらに、科学的思考力や課題解決能力を習得する目的で、教養講座・香川、専門ゼミナール、卒業研究を通じ、少人数によるゼミ形式の教育を入学から卒業に至るまで一貫して行っている。

授業科目

(令和6年4月1日現在)

基礎科目群	人文学	日本語表現法、哲学、史学、心理学、倫理学
	社会科学	法学、教育学、社会学、経済学、文化人類学
	自然科学	物理学、物理学実験、化学、化学実験、生物学、生物学実験
	外国語	英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、中国語Ⅰ・Ⅱ
	情報・健康科学	情報科学Ⅰ・Ⅱ・演習、健康科学、健康スポーツ
	総合科目	教養講座・香川
臨床検査専門科目群	専門基礎	解剖学、解剖学実習、生理学、生理学実習、生化学Ⅰ・Ⅱ、生化学実習、生命科学概論、微生物学、病理病態学、検査機器概論、薬理学、公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食品衛生学、環境・食品検査学実習、社会福祉学、瀬戸内圏環境論、国際保健論、組織論、地域チーム医療論、医療統計学Ⅰ・Ⅱ、人間工学、医用電子工学、医用電子工学演習、医療情報処理学
	分析検査学	臨床化学検査学、生体試料分析検査学、病態化学分析検査学 生体試料分析検査学実習、一般検査学、一般検査学実習、放射性同位元素学 分子生物学、分子生物学実習、臨床遺伝子検査学、臨床遺伝子検査学実習 生体防御検査学、高感度分析検査学、高感度分析検査学実習、 輸血・移植検査学、輸血・移植検査学演習、輸血・移植検査学実習
	形態検査学	微生物検査学、細菌検査学実習、ウイルス・真菌検査学実習、医動物検査学演習 病理病態学演習、病理検査学、病理検査学実習、血液検査学Ⅰ・Ⅱ 血液検査学実習、顕微鏡技術論、写真技術論
	検査情報解析検査学	生体画像情報検査学、生体制御機能検査学、生体機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ 臨床医学Ⅰ・Ⅱ、病態生理機能検査学、病態代謝機能検査学、 検査精度保証管理学、検査分析システム学、検査情報解析学、 臨床検査管理運営学
	総合検査学	検査学概論、臨床検査学体験実習、基礎検査技術学演習、専門ゼミナール 臨床検査関係法規、先端医療技術学、医療安全管理学、検診検査学 生殖補助医療技術論、リスクマネジメント、遺伝子分析科学 健康食品学、健康食品学関係法規、卒業研究
	臨地実習	臨地実習前技能到達度評価、臨床検査総論臨床実習、病理組織細胞学臨床実習、 臨床生理検査学臨床実習、臨床化学検査学臨床実習、臨床血液検査学臨床実習、 臨床微生物検査学臨床実習、臨床免疫検査学・輸血移植免疫検査学臨床実習

(2) 保健医療学研究科

<看護学専攻博士前期課程>

○研究コース

博士前期課程では、エビデンスのある看護実践を創造する基本的研究能力を身に付け、専門性の高い看護実践能力を持ち、リーダーシップマネジメント力を発揮し、地域の保健医療活動や後輩育成に貢献できる人材を育成することを教育目的とし、専門領域は、基盤開発看護学、地域看護学、精神保健看護学、療養支援看護学、次世代育成看護学の5領域で構成し、実践看護の質の向上と変革をめざす。

授業科目（看護学専攻博士前期課程研究コース）

（令和6年4月1日現在）

専門共通科目			
	先端医学論※ 生命・医療倫理論※ 看護と哲学 地域包括ケア特論	チーム医療特論※ 英論文作成概論 質的研究方法論 看護政策特論	保健統計学特論 看護理論 量的研究方法論 看護教育学特論
専門領域科目			
基盤開発看護学領域	基盤看護学特論	基盤看護学演習	
地域看護学領域	公衆衛生看護学特論	公衆衛生看護学演習	
	在宅看護学特論	在宅看護学演習	
精神保健看護学領域	精神保健看護学特論	精神保健看護学演習	
療養支援看護学領域	臨床実践看護学特論	臨床実践看護学演習	
	老年看護学特論	老年看護学演習	
次世代育成看護学領域	ウィメンズヘルス看護学特論	ウィメンズヘルス看護学演習	
	小児看護学特論	小児看護学演習	
特別研究科目			
	看護学特別研究		

※は臨床検査学専攻と合同授業科目

○実践者養成コース

・公衆衛生看護学

公衆衛生看護学の学修が、基礎から応用および課題研究との統合に向けて、段階的に「基礎－応用－統合」へと積み上げ着実に科学的根拠に基づく高度な公衆衛生看護実践能力が獲得できるように科目配置する。

公衆衛生看護実践能力や研究力の育成、さらに公衆衛生看護実践力と研究力を統合した課題研究の取り組み、段階的「基礎－応用－統合」プロセスで進める。

授業科目（看護学専攻博士前期課程実践者養成コース 公衆衛生看護学）

（令和6年4月1日現在）

専門共通科目		
	研究コースと同科目	
専門領域科目		
地域看護学領域	公衆衛生看護学特論	公衆衛生看護学演習
公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護技術論Ⅰ・Ⅱ
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	公衆衛生看護管理論Ⅰ・Ⅱ
	保健医療福祉行政論	保健医療福祉行政論演習 疫学
	保健統計学	公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ
実践者養成コース共通	地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ	
特別研究科目		
	課題研究Ⅰ・Ⅱ	

※は臨床検査学専攻と合同授業科目

・助産学

助産学では、責務遂行能力、助産実践能力、課題探求解決能力、連携・協働力、地域貢献力を修得できるように課題研究科目、専門共通科目、専門領域科目（実践コース共通科目を含む）に加えて、助産師国家試験受験資格取得に必要な科目を共通方針に基づいて配置する。

授業科目（看護学専攻博士前期課程実践者養成コース 助産学）

（令和6年4月1日現在）

専門共通科目	
	研究コースと同科目
専門領域科目	
次世代育成看護学領域	ウィメンズヘルス看護学特論 ウィメンズヘルス看護学演習
助産学	助産学概論 助産実践概論 周産期学・女性学特論
	新生児学・乳幼児学特論 助産実践特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	助産実践演習Ⅰ・Ⅱ 地域母子保健活動論 助産管理
	助産学実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
実践者養成コース共通	地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ
特別研究科目	
	課題研究Ⅰ・Ⅱ

※は臨床検査学専攻と合同授業科目

<看護学専攻博士後期課程>

博士後期課程では、実践科学としての看護学に対する深い学識を持つ自律した研究者として、看護実践に役立つモデルを独創的に開発し、研究成果を地域に還元することで、地域の実践の向上と変革に貢献できる教育者又は看護実践の組織的指導者を育成する。

看護学の専門領域は、地域包括ケアの推進に資する看護実践に役立つモデルの開発研究を目指し、「実践開発看護学領域」とする。授業は、人と論理的・対話的に議論することで、組織内で政策提言ができるリーダー能力の育成を意図した展開方法とする。

授業科目（看護学専攻博士後期課程）

（令和6年4月1日現在）

専攻共通科目			
	看護理論学	看護学発展論	看護研究方法特論
	専門科目		演習科目
実践開発看護学領域	基盤看護科学特論	地域在宅看護科学特論	実践開発看護学特別演習
	精神保健看護科学特論、療養支援看護科学特論		
	次世代育成看護科学特論		
特別研究科目			
	看護学特別研究		

＜臨床検査学専攻博士前期課程＞

保健医療学研究科の教育目的、臨床検査学専攻の教育目的に則って、臨床検査技師の役割と機能が拡大・多様化するなかで、高度先進医療への対応と新しい検査技術の開発、感染症や生活習慣病などの疾病予防と健康増進に貢献できる高度専門職業人としての臨床検査技師を育成するための方針に基づいてカリキュラムを編成する。

授業科目（臨床検査学専攻博士前期課程）

（令和6年4月1日現在）

専門共通科目			
	先端医学論※ 生命・医療倫理論※ 食理学	保健医療福祉論 検査総合管理学 検査研究方法論	チーム医療特論※ 医療情報管理学
専門領域科目			
病態機能検査学領域	生体機能検査学特論	生体機能検査学演習	病態解析検査学特論
	病態解析検査学演習	病理病態検査学特論	病理病態検査学演習
	血液病態検査学特論	血液病態検査学演習	神経生理機能検査学特論
	神経生理機能検査学演習		
病因解析検査学領域	病原因子検査学特論	病原因子検査学演習	生体防御検査学特論
	生体防御検査学演習	生体化学検査学特論	生体化学検査学演習
	遺伝子検査学特論	遺伝子検査学演習	
特別研究科目			
	臨床検査学特別研究		

※は看護学専攻と合同授業科目

＜臨床検査学専攻博士後期課程＞

保健医療学研究科の教育研究理念、臨床検査学専攻の教育目的に則って、臨床検査学の学術的基盤に基づいた高度な専門性と学際性とのバランスを図り、研究領域における教育・研究の深化と発展を目指し、さらにこれを科学的に究めて新規かつ独創的な研究成果を発信できる人材、すなわち、臨床検査学の高度な専門的能力と広範な専門知識、更に科学的検証能力を備えた人材を育成するための方針に基づいてカリキュラムを編成する。

授業科目（臨床検査学専攻博士後期課程）

（令和6年4月1日現在）

専門共通科目	
	臨床検査学研究方法論
専門科目	
病態機能検査学領域	病理病態検査技術論、神経生理機能検査技術論
病因解析検査学領域	病原因子解析検査技術論、遺伝子検査技術論
特別研究科目	
	臨床検査学特別研究Ⅰ、臨床検査学特別研究Ⅱ、臨床検査学特別研究Ⅲ

(4) 実習施設

【保健医療学部】

①看護学科（文部科学省承認施設）

（令和6年4月1日現在）

◎看護学導入実習・看護過程論実習・看護技術論実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院、かがわ総合リハビリテーション病院、
高松訪問看護ステーション、訪問看護ステーションこくぶ、訪問看護ステーションQちゃん、
高松市保健センター、ぽっこ助産院、特別養護老人ホームエデンの丘（以上、高松市）
丸亀市（丸亀市）、香川大学医学部附属病院（三木町）、宇多津町（宇多津町）、
多度津町（多度津町）

◎発達段階別看護論実習Ⅰ（母性看護学）

ぽっこ助産院、わはは・ひろば高松・香西、
特定非営利活動法人ゆうゆうクラブ（以上、高松市）
さぬき市民病院（さぬき市）

◎発達段階別看護論実習Ⅱ（小児看護学）

高松赤十字病院、かがわ総合リハビリテーション病院、高松市はらこども園、
高松市はやしこども園、高松市屋島こども園、高松市立牟礼保育所、
高松市立田井保育所、高松市立鶴尾保育所（以上、高松市）
香川大学医学部附属病院（三木町）

◎発達段階別看護論実習Ⅲ（老年看護学）

屋島総合病院、かがわ総合リハビリテーション病院（以上、高松市）

◎メンタルヘルス看護論実習

香川県立丸亀病院、三船病院（以上、丸亀市）、若竹会（坂出市）

◎在宅看護学実習

高松訪問看護ステーション、訪問看護ステーションこくぶ、訪問看護ステーションかけはし、
訪問看護ステーション福、訪問看護ステーションQちゃん、訪問看護ステーションなごみ、
訪問看護ステーションやしま、訪問看護ステーションやすもり、
ゆりかごナースセンター（以上、高松市）
まるがめ訪問看護ステーション（丸亀市）、訪問看護ステーションたきのみや（綾川町）

◎健康レベル別看護論実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院（以上、高松市）、香川大学医学部附属病院（三木町）

◎看護学総合実習

各領域において実施

②臨床検査学科

◎各臨床実習

香川県立中央病院、高松赤十字病院、高松市立みんなの病院、キナシ大林病院、
屋島総合病院（以上、高松市）
回生病院（坂出市）、三豊総合病院（観音寺市）、香川大学医学部附属病院（三木町）、
滝宮総合病院（綾川町）

【大学院保健医療学研究科 看護学専攻博士前期課程 実践者養成コース】 (文部科学省承認施設)

＜公衆衛生看護学＞

◎公衆衛生看護学実習Ⅰ・Ⅱ

高松市保健センター、高松市地域包括支援センター、高松市保健所（以上、高松市）、
中讃保健福祉事務所（丸亀市）、坂出市（坂出市）、西讃保健福祉事務所（観音寺市）、
東讃保健福祉事務所、さぬき市（さぬき市）、三豊市（三豊市）

◎地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ

高松市保健センター（高松市）、小豆総合事務所、土庄町（以上、土庄町）

＜助産学＞

◎助産学実習Ⅰ～Ⅴ

香川県立中央病院、高松赤十字病院、ぼっこ助産院（以上、高松市）
四国こどもとおとなの医療センター（善通寺市）

◎地域包括ケア実習Ⅰ・Ⅱ

高松市保健センター、ぼっこ助産院、特定非営利活動法人ゆうゆうクラブ（以上、高松市）、
認定 NPO 法人子育てネットくすくす（善通寺市）、小豆島中央病院（小豆島町）

(5) 令和6年度 学部・大学院 学年暦

前 期								行事
	日	月	火	水	木	金	土	
4		1	2	3	4	5	6	入学式4/4、新入生オリエンテーション 4/4~4/9、新入生交流会 4/12 健康診断 4/10午後 ワクチン接種説明会 (1年生) 4/26 4限
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
5	28	29	30	1	2	3	4	GW 5/3~5/6 内科検診 (1・2年生) 5/8 博士前期課程中間報告会 5/15
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
6	26	27	28	29	30	31	1	内科検診 (3・4年生・院生) 5/29 博士前期課程実践者養成コース 中間報告会 6/5
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
7	30	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
8	28	29	30	31	1	2	3	夏季休業 8/13~9/30
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						

後 期								行事
	日	月	火	水	木	金	土	
10			1	2	3	4	5	臨床検査学専攻博士後期課程 学術セミナー 10/2 開学記念日 10/20 (休)
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
11	27	28	29	30	31	1	2	橄欖祭 11/2 看護学専攻博士後期課程 学術セミナー
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
12	24	25	26	27	28	29	30	冬季休業 12/25~1/3
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
1	29	30	31	1	2	3	4	
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
2	26	27	28	29	30	31	1	春季休業 3/1~3/31 卒業式・修了式 大学院修了判定 3/5 進級判定結果揭示 (1~3年生)
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	1	
3	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
	30	31						

(凡例) : 土・日曜、休日 : 休業日

(1) 役職員

(令和6年5月1日現在)

学 長	平川 栄一郎
副 学 長	片山 陽子
研 究 科 長	
学 生 部 長	
図 書 館 長	古山 達雄
看 護 学 科 長	吉本 知恵
臨床検査学科長	多田 達史
看護学専攻長	近藤 真紀子
臨床検査学専攻長	奥田 潤
事 務 局 長	白井 道代
事 務 局 次 長	住吉 千晶



(速水史朗「人」1999年)

(2) 教職員数

(令和6年5月1日現在、単位：人)

区 分		学長・副学長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
学 長		1						1
副 学 長		1						1
保健医療学部	看 護 学 科		11	6	8	8	2	35
	臨床検査学科		5	3	4	4		16
計（教員）		2	16	9	12	12	2	53

区 分	学長・副学長	教 授	准教授	講 師			計
保健医療学研究科	[2]	[16]	[8]	[8]			[34]

区 分	事務局長	事務局次長	副主幹	主任	主任主事 主 事	会計年度 任用職員	計
事 務 局	1	1	1	4 (3)	3	(5)	10 (8)

合 計							63 (8)
-----	--	--	--	--	--	--	--------

※保健医療学研究科の[]内の人数は学部との兼務者であり、教授には学長及び副学長を含む。
事務局の()内の人数は定数外職員。

(3) 教員の研究内容

【学長・副学長】

領 域	教 員	研 究 内 容
形態検査学	平川栄一郎	1. 癌の分子病理診断 2. 癌の浸潤と転移に関する分子機構の解析
在宅看護学	片山 陽子	1. Advance Care Planning (ACP) ・意思決定支援に関する研究 2. エンドオブライフケアに関する研究 3. 訪問看護に関する研究 4. 在宅看護学教育に関する研究

【保健医療学部】

①看護学科

領 域	教 員	研 究 内 容
基礎看護学	筒井 邦彦	1. 看護領域における超音波検査の有用性の研究 2. 死後の画像検査の研究
	小野 美穂	1. 病者のピアサポートに関する研究 2. 看護教育に関する研究 3. 慢性疾患患者のセルフマネジメントに関する研究
	小林 秋恵	1. 包括的脳卒中予防の看護実践に関する研究 2. 看護職者の多職種連携協働能力に関する研究
	新井恵津子	1. リンパ浮腫患者の看護支援に関する研究 2. 糖尿病患者の周手術期看護支援に関する研究 3. 術後がん患者間の相互作用に関する研究
	重兼 望	1. 新人看護職員の教育支援に関する研究 2. 看護職におけるピアグループに関する研究
成人看護学	近藤真紀子	1. 病いと共に生きる患者とその家族への支援に関する研究 2. ハンセン病と医療倫理に関する研究 3. 幼い子供をもつがん患者とその家族への支援に関する研究 4. 看護師のグリーフケアに関する研究 5. 看護実践の理論化・概念化に関する研究
	岩本 真紀	1. がんサバイバーのストレングスに関する研究 2. がんサバイバーへの意思決定支援に関する研究
	森田公美子	1. がんとともに生きる人の QOL を維持する看護支援に関する研究 2. 乳がん体験者と家族への看護支援に関する研究 3. 外来・在宅でのがん看護のあり方に関する研究 4. がん看護に携わる看護師の看護実践能力の可視化に関する研究
	岡西 幸恵	1. がんサバイバーの調和に関する研究 2. 頭頸部がん患者への看護支援に関する研究 3. 成人看護学教育に関する研究
	中島 文香	1. がん患者の痛みの理解に関する看護研究 2. がん患者の全人的理解への看護支援に関する研究
	金 アンナ	1. 国際協力をする看護職者の経験と能力に関する研究 2. がんとともに生きる人へのエンド・オブ・ライフケアの研究

領 域	教 員	研 究 内 容
母性看護学・ 助産学	木戸久美子	1. 周産期の抑うつ（父親および母親）とその関連要因の研究 2. 在留外国人女性のリプロダクティブヘルスに関する研究 3. 育児支援に関する研究 4. マタニティケア領域におけるシミュレーション教育に関する研究
	植村 裕子	1. 母性看護学および助産学教育に関する研究 2. 女性の健康支援に関する研究 3. 外国人留学生の健康支援に関する研究
	松下有希子	1. 院内助産における助産ケアに関する研究 2. 助産師の職務満足に関する研究
	十河美智子	1. 助産師実践能力に関する研究
小児看護学	枝川千鶴子	1. 子どもと家族の健康管理および病気対処行動に関する研究 2. ハイリスク新生児と家族の看護に関する研究 3. 在宅移行期における子どもと家族の支援に関する研究
	松本 裕子	1. 先天代謝異常症の子どもとその家族に関する研究 2. 新生児マススクリーニングに関する研究 3. 小児看護学教育に関する研究 4. 子育て支援についての研究
	加藤 豊	1. 小児がん経験児の復学支援に関する研究
老年看護学	吉本 知恵	1. 高齢者の病院からの移行を支援する看護に関する研究 2. 認知症高齢者の支援に関する研究 3. 老年看護学教育に関する研究
	竹内 千夏	1. 脳卒中後遺症をもつ在宅療養高齢者の看護支援に関する研究 2. 認知症高齢者への支援に関する研究 3. 老年看護学教育に関する研究
	平井智重子	1. 高齢者の健康支援に関する研究 2. 老年看護学教育に関する研究
在宅看護学	岡田 麻里	1. 訪問看護師の地域看取りケアの振り返りに関する研究 2. 頸髄損傷者のセルフマネジメントに関する研究 3. 一人暮らし高齢者の居場所づくりに関する研究 4. 多職種連携のための継続看護マネジメントに関する研究
	諏訪亜季子	1. 重症児（者）と高齢者家族等の多重介護支援に関する研究 2. 難病や障害をもつ児とその家族への子育て支援に関する研究
	和田 知世	1. 在宅緩和ケアに関する研究 2. 在宅多職種連携に関する研究 3. シミュレーション教育に関する研究
精神看護学	則包 和也	1. 精神疾患をもつ人への治療的な看護の研究 2. 認知行動療法を活用した看護の研究
	土岐 弘美	1. 認知症を抱える人や家族の支援に関する研究 2. 精神の病を抱える人や家族の支援に関する研究 3. 看護職者のメンタルヘルスの支援に関する研究
	多田羅光美	1. 精神に病いを持つ人への支援に関する研究 2. 精神科看護師の Quality of life や職務満足に関する研究 3. 看護職者への継続教育に関する研究

領 域	教 員	研 究 内 容
地域看護学・ 公衆衛生看護学	辻 よしみ	1. 保健医療サービスに関する研究 2. 保健師の人材育成に関する研究 3. 公衆衛生看護学教育に関する研究
	佐々木純子	1. 地域での連携についての研究 2. 在宅ケアに関する研究 3. 訪問看護ステーションの管理運営に関する研究
	植原 千明	1. 保健師の地区活動に関する研究 2. 公衆衛生看護学教育に関する研究
	横溝 珠実	1. 児童虐待予防に関する研究 2. 子育て支援に関する研究 3. 地域における保健師活動に関する研究
	藤村保志花	1. 行政保健師の役割に関する研究 2. 児童虐待に関する研究
医学英語・ 応用社会科学	南 貴子	1. 海外における生殖補助医療を巡る法制度と家族についての研究 2. 安楽死を巡る法制度についての研究 3. 英語教育
情報・統計学	比江島欣愼	1. 臨床研究における evidence 導出に関する統計学・疫学の利用について ① カウンターファクチュアルモデルに基づくデータ分析手法の開発 ② 診療情報や保健情報の 2 次利用 ③ 深層学習の利用 ④ 医療従事者への統計ユーザー教育の方法と実践 2. 感染制御分野における統計学・疫学の活用 3. 医療機関における患者安全と医療サービスの評価

②臨床検査学科

領 域	教 員	研 究 内 容
情報解析検査学	樋本 尚志	1. 肝疾患における自己抗体の臨床的意義 2. 肝疾患における糖・脂質代謝異常と微量元素との関連
	徳原 康哲	1. 先天性代謝異常症の病態・病因・検査法に関する研究 2. 次亜塩素酸ナトリウム五水和物を用いた新規臨床検査法の開発
	大栗 聖由	1. 脳波解析を用いた新たなバイオマーカーの開発 2. 横隔膜超音波検査を用いた呼吸筋に関する研究
	小河 佳織	1. 筋硬度を用いた新しい生体情報解析法の開発 2. 腹部超音波検査の描出法に関する研究
形態検査学	奥田 潤	1. 緑膿菌の未知の病原性発現機構解析 2. 緑膿菌の内因性血液感染機構解析と新規予防法の開発 3. III型分泌機構に着眼したエドワジエラ属細菌の病原性発現機構解析 4. 緑膿菌の新規抗菌薬耐性遺伝子や敗血症関連遺伝子の網羅的探索
	池亀 彰茂	1. 造血器腫瘍におけるフローサイトメトリーのマルチカラー解析 2. マクロファージによる NETs 貪食の Presepsin 産生に関する研究

領 域	教 員	研 究 内 容
形態検査学	末澤 千草	1. エドワジエラ属細菌の病原性に関する研究 2. 緑膿菌の病原性に関する研究 3. 緑膿菌の新規抗菌薬耐性遺伝子や敗血症関連遺伝子の網羅的探索
	森西 起也	1. 癌の分子病理診断 2. 大腸癌における核内受容体を対象とした研究
	近藤 明宏	1. プレセプシンの産生機序と臨床的有用性に関する研究 2. 血液細胞の機能および検査法に関する研究
分析検査学	多田 達史	1. 糖尿病と動脈硬化に関する臨床的研究 2. 自動分析装置の臨床に関する研究 3. 社会的ストレス関連マーカーの研究
	岡田 仁	1. ビリルビン光化学反応に関する研究 2. 早産児ビリルビン脳症の予防に関する研究 3. 小児血液がん疾患に関する臨床的研究
	宮川 朱美	1. 全身性強皮症診断法における免疫学的検査の有用性の研究 2. 透析患者の酸化ストレス度と抗酸化力の総合評価に関する研究
	太田 安彦	1. DPP- IV発現の機序に関する研究 2. 糖尿病患者における DPP- IV 活性値測定の自動化について
	青野 りよ	1. 病原細菌の免疫応答に関わる付着・定着因子の遺伝学的検討
解剖生理学	古山 達雄	1. 脈管形成における寿命関連遺伝子の関与 2. 神経新生における寿命関連遺伝子の関与
	新美 健太	1. 脈管系の発達過程に関する形態的研究 2. 内皮細胞におけるフォークヘッド転写因子の生理学的機能の検討 3. 中枢神経系の発達過程に関する形態的研究

(4) 教員の研究業績

(期間：令和5年4月～令和6年3月、単位：件)

区 分	学 術 論 文 等										学 会 発 表						主 催 学 会 等	講 演 等
	著 書 〔欧文〕	著 書 〔和文〕	原 著 〔欧文〕	原 著 〔和文〕	総 説 〔欧文〕	総 説 〔和文〕	研究報告 〔欧文〕	研究報告 〔和文〕	その他 〔欧文〕	その他 〔和文〕	国際学会			国内学会				
											特 別 講 演	シンポジウム等	一 般 演 題	特 別 講 演	シンポジウム等	一 般 演 題		
看護学科		3	3	7	2	1	1			21			4		6	39	6	99
臨床検査学科		1	5	1	1	2		1					2	4	6	15	1	1
助産学専攻科																		
合 計		4	8	8	3	3	1	1		21			6	4	12	54	7	100

(1) 入学者選抜試験及び入学者の状況

年度	学科・研究科		試験区分	募集人員 (人以内)	出願者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	倍率	入学者数(人)		
									県内	県外	計
令和6年度	保健医療学部	看護学科	推 薦	35	37 (3)	37 (3)	31 (2)	1.2	31 (2)	0 (0)	31 (2)
			一般(前)	25	32 (1)	32 (1)	29 (1)	1.1	12 (0)	16 (1)	28 (1)
			一般(後)	10	72 (0)	20 (0)	11 (0)	1.8	6 (0)	5 (0)	11 (0)
			計	70	141 (4)	89 (4)	71 (3)	1.3	49 (2)	21 (1)	70 (3)
		臨床検査学 科	推 薦	10	18 (2)	18 (2)	6 (1)	3.0	6 (1)	0 (0)	6 (1)
			一 般	10	17 (3)	12 (2)	12 (2)	1.0	4 (0)	8 (2)	12 (2)
			計	20	35 (5)	30 (4)	18 (3)	1.7	10 (1)	8 (2)	18 (3)
		合 計	推 薦	45	55 (5)	55 (5)	37 (3)	1.5	37 (3)	0 (0)	37 (3)
			一 般	45	121 (4)	64 (3)	52 (3)	1.2	22 (0)	29 (3)	51 (3)
			計	90	176 (9)	119 (8)	89 (6)	1.3	59 (3)	29 (3)	88 (6)
	保健医療学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	25	26 (1)	26 (1)	22 (1)	1.2	15 (1)	4 (0)	19 (1)
		研究コース	一般選抜 社会人選抜	5	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0	2 (0)	0 (0)	2 (0)
		実践者養成コース (公衆衛生看護学)	一般選抜 社会人選抜	10	12 (1)	12 (1)	10 (1)	1.2	9 (1)	1 (0)	10 (1)
		実践者養成コース (助産学)	一般選抜 社会人選抜	10	12 (0)	12 (0)	10 (0)	1.2	4 (0)	3 (0)	7 (0)
		看護学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)	0 (0)	1 (0)
		臨床検査学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	3	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0	1 (0)	0 (0)	1 (0)
		臨床検査学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
令和5年度	保健医療学部	看護学科	推 薦	35	48 (2)	47 (2)	35 (2)	1.3	35 (2)	0 (0)	35 (2)
			一般(前)	25	56 (8)	53 (8)	28 (3)	1.9	10 (1)	13 (2)	23 (3)
			一般(後)	10	63 (8)	16 (2)	13 (2)	1.2	7 (1)	5 (1)	12 (2)
			計	70	167 (18)	116 (12)	76 (7)	1.5	52 (4)	18 (3)	70 (7)
		臨床検査学 科	推 薦	10	14 (3)	14 (3)	9 (2)	1.6	9 (2)	0 (0)	9 (2)
			一 般	10	35 (5)	26 (4)	12 (1)	2.2	1 (1)	10 (0)	11 (1)
			計	20	49 (8)	40 (7)	21 (3)	1.9	10 (3)	10 (0)	20 (3)
		合 計	推 薦	45	62 (5)	61 (5)	44 (4)	1.4	44 (4)	0 (0)	44 (4)
			一 般	45	154 (21)	95 (14)	53 (6)	1.8	18 (3)	28 (3)	46 (6)
			計	90	216 (26)	156 (19)	97 (10)	1.6	62 (7)	28 (3)	90 (10)
	保健医療学研究科	看護学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	25	23 (0)	23 (0)	16 (0)	1.4	13 (0)	0 (0)	13 (0)
		研究コース	一般選抜 社会人選抜	5	2 (0)	2 (0)	2 (0)	1.0	2 (0)	0 (0)	2 (0)
		実践者養成コース (公衆衛生看護学)	一般選抜 社会人選抜	10	4 (0)	4 (0)	4 (0)	1.0	2 (0)	0 (0)	2 (0)
		実践者養成コース (助産学)	一般選抜 社会人選抜	10	17 (0)	17 (0)	10 (0)	1.7	9 (0)	0 (0)	9 (0)
		看護学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		臨床検査学専攻 (博士前期課程)	一般選抜 社会人選抜	3	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1.0	2 (2)	0 (0)	2 (2)
		臨床検査学専攻 (博士後期課程)	一般選抜 社会人選抜	2	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1.0	0 (0)	1 (1)	1 (1)

※ () 内は男子学生(内数)。合格者数には追加合格者数を含む。

(2) 学部・専攻科・大学院在学生の状況

① 学生定員及び在学生数

(令和6年5月1日現在)

区 分		修業 年限	入学定員	収容定員	学 生 数					
					区分	1年	2年	3年	4年	計
保健 医療 学部	看 護 学 科	4年	70人	280人	計	77人	64人	70人	67人	278人
					男	5人	5人	5人	5人	20人
					女	72人	59人	65人	62人	258人
	臨床検査学科	4年	20人	80人	計	20人	19人	20人	18人	77人
					男	3人	4人	5人	2人	14人
					女	17人	15人	15人	16人	63人
	合 計		90人	360人	計	97人	83人	90人	85人	355人
					男	8人	9人	10人	7人	34人
					女	89人	74人	80人	78人	321人
保健 医療 学 研 究 科	看護学専攻 (博士前期課程)	2年	25人	50人	計	19人	16人			35人
	研究コース		5人	10人	男	0人	0人			0人
					女	2人	4人			6人
	実践者養成コース (公衆衛生看護学)		10人	20人	男	1人	0人			1人
					女	9人	3人			12人
	実践者養成コース (助産学)	10人	20人	女	7人	9人			16人	
	看護学専攻 (博士後期課程)	3年	2人	6人	計	1人	0人	7人		8人
					男	0人	0人	1人		1人
					女	1人	0人	6人		7人
	臨床検査学専攻 (博士前期課程)	2年	3人	6人	計	1人	2人			3人
					男	0人	2人			2人
					女	1人	0人			1人
	臨床検査学専攻 (博士後期課程)	3年	2人	6人	計	0人	1人	1人		2人
					男	0人	1人	1人		2人
					女	0人	0人	0人		0人
合 計		32人	68人	計	21人	19人	8人		48人	
				男	1人	3人	2人		6人	
				女	20人	16人	6人		42人	

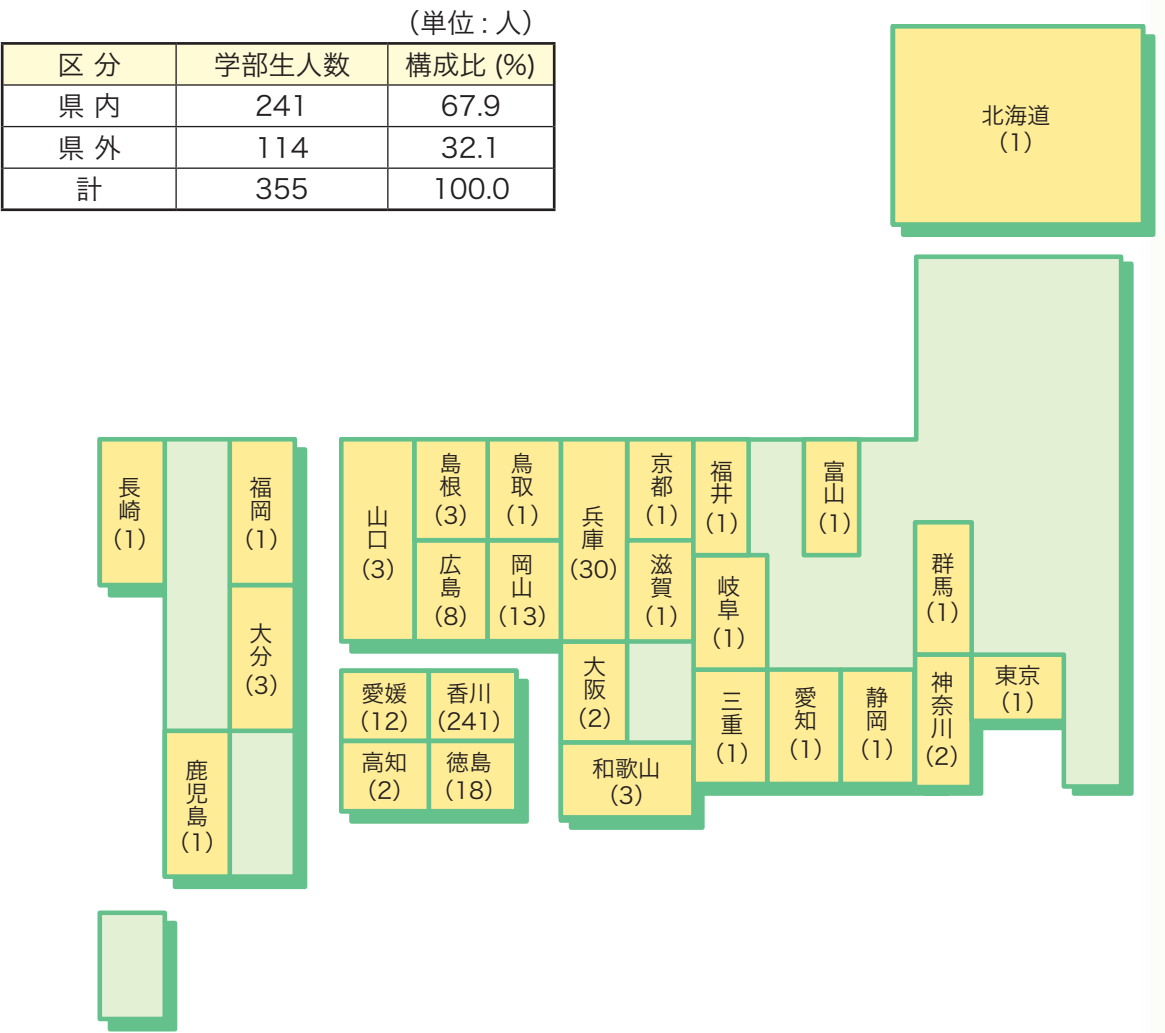
②退学者の状況

学 科		令和4年度					令和5年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計
学 部	看護学科	0人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	1人
	臨床検査学科	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	2人
保健医療学研究科		0人	2人	0人		2人	0人	2人	0人		2人
計		0人	3人	0人	0人	3人	2人	2人	1人	0人	5人

③休学者の状況

学 科		令和4年度					令和5年度				
		1年次	2年次	3年次	4年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	計
学 部	看護学科	0人	1人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	1人
	臨床検査学科	1人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	1人
保健医療学研究科		1人	1人	0人		2人	1人	1人	0人		2人
計		2人	2人	0人	0人	4人	2人	2人	0人	0人	4人

(3) 出身県別学部学生数 (令和6年4月1日現在)



(4) 令和6年3月卒業生・修了生の進路

学 科 等			看護学科		臨床検査学科	大学院 (助産学)		大学院 (公衆衛生看護学)		保 健 医療学 研究科	合計
職 種			看護師	その他	臨床検査技師	看護師	助産師	看護師	保健師		
就 職	県 内	香川県、香川県立病院	3人								3人
		市町、市町立病院			3人						3人
		国、独立行政法人	2人								2人
		大学附属病院	13人		2人		2人	1人			18人
		高松赤十字病院	9人		2人						11人
		その他の病院、施設	3人		3人		1人				7人
		小 計	30人		10人		3人	1人			44人
	県 外	都道府県、都道府県立病院 地方独立行政法人	1人		2人						3人
		市町村、市町村立病院 地方独立行政法人	6人		1人		1人				7人
		国、独立行政法人	1人				1人				2人
		大学附属病院	8人				3人				11人
		日本赤十字社関連施設	2人		1人						3人
		その他の病院、施設等	4人	1人	4人		1人			1人	12人
		小 計	22人	1人	8人		6人			1人	38人
	計		52人	1人	18人		9人	1人		1人	82人
現 職 継 続										6人	6人
進 学			17人		1人						18人
そ の 他											
合 計			70人		19人	9人		1人		7人	106人

(5) 国家試験の合格状況

区 分	令和4年度			令和5年度		
	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
看 護 師	68人	68人	100.0%	70人	70人	100.0%
保 健 師	20人	20人	100.0%	1人	1人	100.0%
助 産 師	3人	3人	100.0%	9人	9人	100.0%
臨 床 検 査 技 師	22人	21人	95.5%	19人	19人	100.0%

(6) 奨学生の状況

日本学生支援機構奨学生状況

		令和4年度					令和5年度				
		貸 与				給付	貸 与				給付
		一種	二種	併用	計		一種	二種	併用	計	
看護学科	1年	11人	10人	4人	25人	11人	10人	4人	1人	15人	9人
	2年	15人	6人	2人	23人	15人	10人	10人	5人	25人	11人
	3年	7人	4人	3人	14人	12人	16人	6人	1人	23人	15人
	4年	17人	4人	0人	21人	11人	7人	3人	3人	13人	12人
臨床検査学科	1年	3人	1人	2人	6人	4人	2人	4人	0人	6人	3人
	2年	4人	2人	0人	6人	5人	4人	1人	1人	6人	5人
	3年	3人	1人	1人	5人	6人	3人	1人	0人	4人	5人
	4年	1人	5人	1人	7人	1人	3人	1人	1人	5人	6人
助産学専攻科		0人	1人	0人	1人						
保健医療学研究科	1年	3人	2人	1人	6人		3人	0人	0人	3人	
	2年	1人	0人	0人	1人		3人	1人	1人	5人	
	3年	0人	0人	0人	0人		0人	0人	0人	0人	
計		65人	36人	14人	115人	65人	61人	31人	13人	105人	66人

(7) 学生相談

学生相談室利用状況

施設の名称：学生相談室

開 室 時 間：予約制

ス タ ッ フ：臨床心理士 1名（非常勤）、学内相談員 4名（教職員兼務）

年間相談延件数：令和4年度 21件 令和5年度 19件

(8) 課外活動

① サークル活動（令和6年3月現在）

・学生団体名

バレーボールサークル、バドミントンサークル、茶道部、軽音楽サークル、写真部、フットサルサークル、吹奏楽サークル、軟式野球サークル、図書サークル（ビブリア）、香川県青年赤十字奉仕団サークル、災害医療サークル、バスケットボールサークル、アウトドアサークル、The ☆ダンスサークル、テニスサークル、マンガ研究会

- ・団体数計 16 団体
- ・サークル登録延人数 204 人
- ・後援会補助金額（予定） 1,200,000 円

② その他

令和5年度においては、新入生交流会と大学祭を開催した。

図書館の状況

(1) 運営状況

- 開館時間：通常……9時～21時30分
土曜日……9時15分～13時
長期休業期間中など……9時～17時
短縮開館時……9時～19時
- 休館日：日曜、長期休業期間中の土曜日、祝日、資料整理日、
開学記念日（10月20日）、年末年始
- 閲覧室の面積：475㎡
- 座席数：閲覧席84席、視聴覚ブース6席
- 収納可能冊数：開架 4万冊
書庫 6万冊

(2) 図書館資料の整備状況

（令和5年度末現在）

区 分	図 書（冊）				雑 誌（種）			視聴覚資料 （点）
	和 書	洋 書	小 計	蔵書 合計	購入 和雑誌	購入 洋雑誌	オンライン ジャーナル	
受入数	1,683	1	1,684	81,495	75	0	0	855

(3) 利用状況（令和5年度）

開館日数：268日

貸出冊数				貸出人数			
学 生	教職員	学外者	合 計	学 生	教職員	学外者	合 計
5,029冊	1,050冊	248冊	6,327冊	2,473人	471人	140人	3,084人

相互利用		参考調査
依 頼	受 付	
320件	0件	331件

(1) 地域連携推進センター事業

【地域住民交流事業】

健康サポーター養成講座

- 日時 令和5年8月～11月
- 場所 保健医療大学
- 内容 講義「地域活動に参加する時の心構えや注意すること」
健康課題をテーマにした企画・ポスター作成、発表
健康測定等フィールド活動

【専門職支援事業】

①かがわメンタルヘルス研究会

- 日時 令和6年2月3日(土)
- 内容 精神保健医療福祉に関する研修会
テーマ「豊かな精神看護に向けて ～看護師が実践家であるゆえん～」

②地域子育て支援研究会

- 日時 令和5年6月9日(金)ほか
- 場所 高松市はらこども園子育て支援センター「にこにこキッズセンター」
- 内容 ミニ講座、子育て健康相談

③在宅ケア学びあい塾

- 日時 令和5年5月23日(火)ほか
- 内容 セミナー（Web開催）
テーマ「いきがい希望を支え、みんなのかかりつけ訪問看護」ほか

④Living in Japan Kagawa研究会

- 日時 令和5年7月20日(木)ほか
- 内容 やさしい日本語講座、健康測定、健康相談

⑤Sim Club Kagawa

- 日時 令和6年2月20日(火)
- 内容 模擬患者養成講座

⑥病院看護部「部署の教育担当者」への問題解決支援

- 内容 集合研修、コンサルテーション
- 対象 主な実習施設の「部署の教育担当者」

⑦地域の魅力づくりのための保健医療福祉等スタッフへの支援事業（SOLEA）

- 日時 令和6年3月20日(水)
- 内容 講演、研究報告、交流会
テーマ
「増え続ける対象疾患のホントは知りたいそこんトコ！～ファブリー病編～」

(2) 公開講座 ～ テーマ『健やかに生きよう』～

【第1回】 令和5年8月17日(木)

香川県立保健医療大学

講座内容	講師	参加者数
消化器の検査について知っておいてほしいこと	教授 筒井 邦彦	48人
これであなたも検査され上手! - 正しい検査の受け方【生理検査編】	講師 大栗 聖由	

【第2回】 令和5年11月13日(月)

香川県社会福祉総合センター

講座内容	講師	参加者数
身近な生物から学ぶ再生	講師 新美 健太	30人
ストレスと二人三脚で歩いていく	教授 則包 和也	

(3) 施設開放

①見学受け入れ

	小学校	中学校	高等学校	計
令和4年度	0件	0件	0件	0件
令和5年度	0件	0件	3件	3件

②施設貸出

	テニスコート	グラウンド	大講義室	一般講義室	体育館
令和4年度	0件	104件	5件	2件	0件
令和5年度	0件	96件	3件	7件	0件

③図書館学外者利用

	入館者数	貸出者数	貸出冊数
令和4年度	218人	120人	209冊
令和5年度	272人	140人	248冊

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学外者の利用を30分に制限した。

(4) オープンキャンパス

- 日 時 令和5年7月29日(土)12:30～16:30
- 場 所 大講義室、各実習室ほか
- 参加人数 467人

《ミニオープンキャンパス》

- 日 時 令和5年11月11日(土)10:00～12:00
- 場 所 206講義室
- 参加人数 18人

(5) 高校等への出張講座 (令和5年度) (延べ人数)

高校等へ出向いた本学教員数 看護学科31人 臨床検査学科14人

(6) 委員等への就任及び講師等の派遣 (令和5年度) (延べ人回数)

	看護学科	臨床検査 学科	学長・ 副学長	計
国・県・市町の審議会及び関係諸 団体の委員・役員等への就任	47	6	1	54
講演・研修の講師等（非常勤講 師は除く。）	95	14	8	117

(7) 情報公開

①情報公開条例に基づく情報公開請求

令和4年度請求 0件 令和5年度請求 0件

②個人情報保護条例に基づく入学試験の口頭による開示請求

令和5年度入学試験 75件 令和6年度入学試験 70件

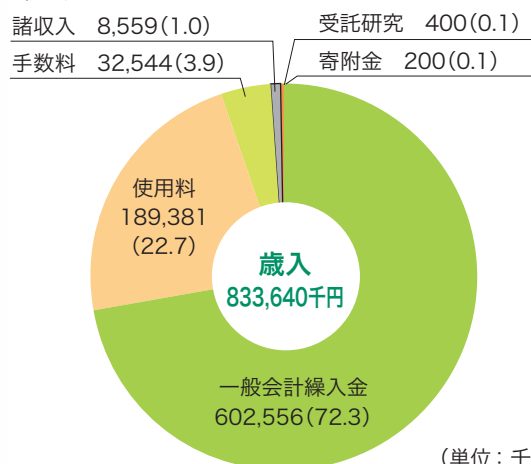
財務状況

(1) 令和6年度 歳入歳出予算

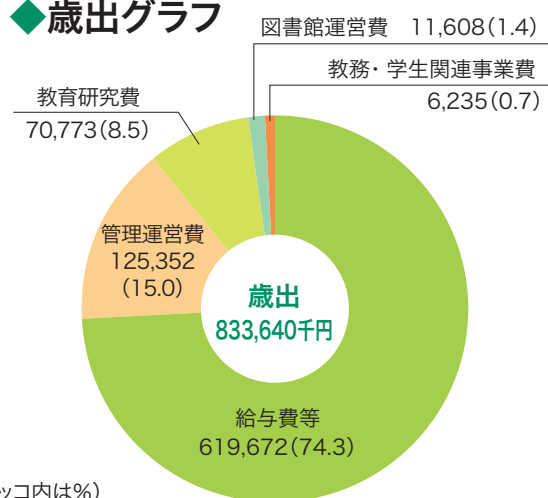
歳入	科目等		金額
	使用料	授業料等	189,381千円
	手数料	入学選考料、入学金等	32,544千円
	寄附金		200千円
	諸収入		8,559千円
	受託研究		400千円
	一般会計繰入金		602,556千円
歳入合計			833,640千円

歳出	科目等		金額
	給与費等		619,672千円
	管理運営費		125,352千円
	教育研究費		70,773千円
	図書館運営費		11,608千円
	教務・学生関連事業費		6,235千円
歳出合計			833,640千円

◆歳入グラフ



◆歳出グラフ



(2) 外部資金の受け入れ状況

区分	令和5年度			
	新規申請	採 択		金額
		新規	継続	
科学研究費助成事業	22件	8件	21件	22,347千円
厚生労働科学研究費補助事業			0件	0千円
国立研究開発法人科学技術振興機構からの受託研究			0件	0千円
奨学寄附金			2件	730千円
受託研究			1件	400千円
学外共同研究			3件	3,430千円

10 施設の状況

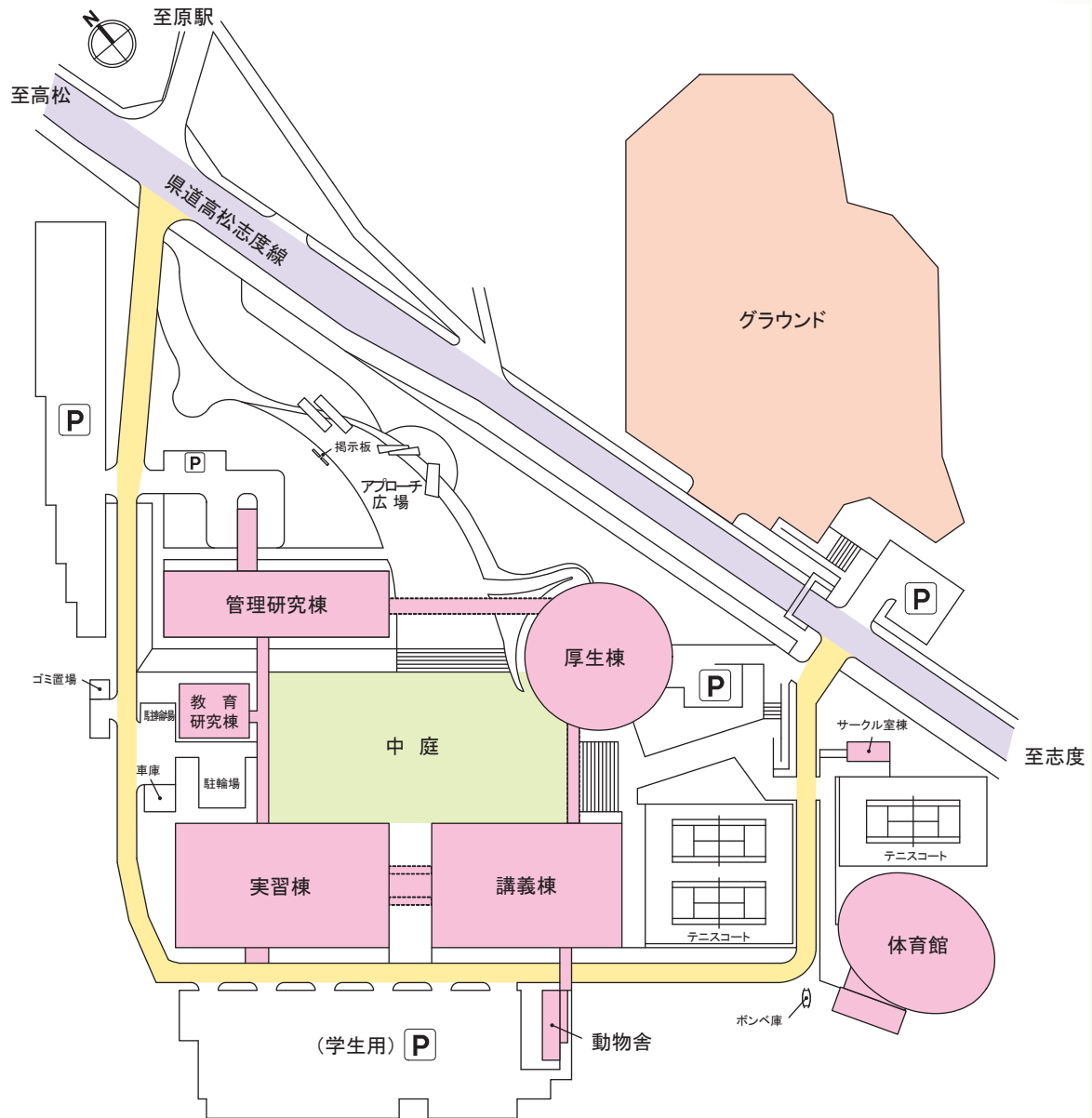
(1) 敷地面積

50,750.56m²（校舎敷地 38,173.56m²、運動場用地 12,577m²）

(2) 建 物

区 分		用 途	面 積
管理研究棟		学長室、副学長室、研究室、事務室、会議室、講師控室、保健室、進路・学生相談室、応接室等	2,653.50m ²
教育研究棟		講義室、教材作成印刷室、大学院生研究室等	243.90m ²
講義棟	1・2階	講義室、情報処理教室等	4,718.55m ²
	3階	大講義室、臨床検査学科研究室等（実習室、準備室、顕微鏡観察室等）	
実習棟	1・2階	看護学科研究室等（実習室、準備室、展示室等）、学生更衣室	5,005.20m ²
	3階	臨床検査学科研究室等（実習室、準備室、標本室等） 大学院生研究室	
厚生棟		図書館、学生ホール・食堂、サークル室、音楽室、和室等	1,982.15m ²
体育館		アリーナ、ステージ、シャワー室、更衣室、器具庫等	1,168.05m ²
動物舎		飼育室、実験室等	99.40m ²
サークル室棟		サークル室、倉庫等	62.24m ²
車庫			54.42m ²
駐輪場			100.78m ²
ゴミ置場			26.71m ²
ガスボンベ庫			5.83m ²
計			16,120.73m ²

(3) 建物配置図



11. 研究活動（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

2023年度研究業績（著書）

所属	研究者	年度	和文・欧文	書名・タイトル	記述ページ	原著名・編者 (訳本の場合)	出版社	出版地 (都道府県名)	出版年月
看護学科	竹内千夏	2023	和文	看護師国試ラピッドスタディ2024 第19版	48-51, 148-153, 90-99	法橋尚宏	有限会社 EDITEX	神奈川県	2023年10月
看護学科	土岐弘美	2023	和文	看護師国試ラピッドスタディ2024 第19版	220-229	法橋尚宏	有限会社 EDITEX	神奈川県	2023年10月
看護学科	岩本真紀	2023	和文	看護師国試ラピッドスタディ2024 第19版	17-43, 108-120	法橋尚宏	有限会社 EDITEX	神奈川県	2023年10月
臨床検査学科	多田 達史	2023	和文	新版 臨床化学 第4版 生化学的検査	第8章 酵素、他		講談社サイエンティフィク	東京都	2024年3月

2023年度研究業績（原著等）

所属	研究者	年度	区分	和文・欧文	タイトル	掲載誌名	巻（号）	記述ページ	発行年
看護学科	Hitomi C, <u>Matsumura C</u>	2023	原著	欧文	A Basic Study to Reduce Bacterial Contamination of the Hands of Nurses during Diaper Changes	International Journal of Nursing & Clinical Practices	Vol. 10	https://doi.org/10.15344/2394-4978/2023/372	2023
臨床検査学科	岡田仁	2023	総説	和文	黄疸の光療法の効果はどのような機序なのか	周産期医学	53増刊号	580-584	2023
臨床検査学科	岡田仁	2023	総説	和文	【血液症候群(第3版)-その他の血液疾患を含めて-】赤血球の異常 貧血 溶血性貧血 先天性溶血性貧血 赤血球膜異常による溶血性貧血 Spherocytic elliptocytosis	日本臨床	別冊血液症候群 I	236-240	2023
看護学科	中矢遥香、山下玲子、中越利佳、枝川千鶴子	2023	原著	和文	産後1か月以降の母親の母乳育児継続意図に関連する要因	香川母性衛生学会誌	23(1)	19-27	2023
看護学科	後藤佳子、中尾敦伸、比江島欣暉	2023	原著	和文	ハイケアユニットの利用が患者の予後や提供されるサービスの質に与える影響（OPCデータによるハイケアユニット利用と一般病棟利用の比較から）	日本医療マネジメント学会雑誌	24(3)	140-148	2023
看護学科	梅澤香織、清川亘希、村田絵吏、喜屋武淳、比江島欣暉、中尾敦伸	2023	原著	和文	血液透析中における血圧の時間的変化に関する指標を用いた透析低血圧の要因分析	日本医科学大学研究紀要	16		2023
看護学科	植原千明、辻よしみ、藤村保志花、大橋育代、井川良子	2023	その他	和文	香川県内の行政組織に属している保健師の配置に係る動向	地域環境保健福祉研究	25(1)	19-28	2023
看護学科	神宮梓、藤村保志花、辻よしみ、植原千明	2023	その他	和文	COVID-19流行下における子どもの居場所に関する活動実態調査	地域環境保健福祉研究	25(1)	29-36	2023
看護学科	<u>Matsumura C</u> , <u>Fukai K</u>	2023	原著	欧文	Comparison of Effects of Complete Bed Baths Using Different Towel Materials: Cotton and Synthetic	International Journal of Nursing & Clinical Practices	Vol. 10	https://doi.org/10.15344/2394-4978/2023/377	2023
臨床検査学科	Sugino M, Kuboi T, <u>Noguchi Y</u> , Nishioka K, Tadatomo Y, Kawaguchi N, Sadamura T, Nakano A, Konishi Y, Koyano K, Nakamura S, Okada H, Itoh S, Kusaka T	2023	原著	欧文	Serum caffeine concentrations in preterm infants: a retrospective study.	Sci Rep.	13(1)	10305. doi: 10.1038/s41598-023-37544-9	2023
臨床検査学科	Park ES, Jeon H, Yu J, Park H-U, Satoh T, Akira S, Furuyama T, Lee C-H, Choi J-S, and Rho J	2023	原著	欧文	TDAG51 promotes transcription factor FoxO1 activity during LPS - induced inflammatory responses	EMBO J	42	e111867	2023
臨床検査学科	Himoto T, Fujita K, Mimura S, Tani J, Morishita A, Kubota S, Masaki T.	2023	原著	欧文	Involvement of essential trace elements in the pathogenesis of hepatitis C virus-related chronic liver disease and nonalcoholic steatohepatitis.	Exp Ther Med	27(1)	doi:10.3892/etm.2023.12307	2023
臨床検査学科	Tokuhashi Y, Ohara K, <u>Morinishi T</u> , Yamaguchi K, Tada S.	2023	原著	欧文	Detection of homocysteine acid by electrospray ionization mass spectrometry.	J Clin Lab Anal	37(21-22)	e24976	2023
看護学科	<u>Kumiko Kido</u> , Yuko Uemura	2023	総説	欧文	An Integrative Review of Fear of Childbirth	Journal of Midwifery	8(1)	24-25	2023

所属	研究者	年度	区分	和文・欧文	タイトル	掲載誌名	巻(号)	記述ページ	発行年
看護学科	Kumiko Kido, Akemi Mitani, Yuko Uemura	2023	総説	欧文	Tender Loving Care:A conceptual Analysis	Women, Midwives and Midwifery	3 (2)	13-23	2023
看護学科	Yukiko Matsushita, Michiko Sogo, Yuko Uemura, Kumiko Kido	2023	研究報告	欧文	Practicing Women-centered Care:Perceptions of Women Who Have Experienced Childbirth at In-Hospital Midwifery Units	International Journal of Nursing & Clinical Practice	10(1)	https://doi.org/10.15344/2394-4978/2023/378	2023
看護学科	多田 羅光美, 土岐弘美	2023	原著	和文	シミュレーションの教育方法を用いた精神看護学演習における学修成果	インターナショナル Nursing Care Research	22(1)	21-30	2023
看護学科	土岐 弘美, 中平 洋子, 小原 弘子	2023	その他	和文	軽度認知症の人の自己を支えるケアガイドライン開発に向けて	地域ケアリング	25 (9)	56-57	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	在宅での看取りによって取り戻すもの：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第1回)	月刊ケアマネジャー	25 (4)	62-63	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	エンドオブライフケア人生の物語に寄り添う：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第2回)	月刊ケアマネジャー	25 (5)	62-63	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	2.5人称の死 利用者との距離感：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第3回)	月刊ケアマネジャー	25 (6)	62-63	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	死と向き合う縁の視点：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第4回)	月刊ケアマネジャー	25 (7)	62-63	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	人生の統合、人生の最終段階で自分の歴史を知る意味：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第5回)	月刊ケアマネジャー	25 (8)	62-63	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	看取りにおける希望の意味：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第6回)	月刊ケアマネジャー	25 (9)	62-63	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	演出家としてのケアマネジャー、自宅での最期を肯定的に評価する：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第7回)	月刊ケアマネジャー	25 (10)	62-63	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	在宅での緩和ケア：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第8回)	月刊ケアマネジャー	25 (11)	62-63	2023
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	安定期に必要な支援、地域社会とのつながり：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第9回)	月刊ケアマネジャー	25 (12)	62-63	2023
看護学科	岡田麻里, 片山陽子	2023	その他	和文	香川県立保健医療大学における地域健康サポーター実習の紹介	香川県立保健医療大学雑誌	14	51-57	2023
看護学科	岡田麻里, 長江弘子, 仁科祐子, 片山陽子, 谷垣静子, 酒井昌子, 栗越千枝, 小池愛弓, 坂井志麻, 彦聖美	2023	その他	和文	継続看護マネジメントを基盤にした多職種連携教育プログラムの実施と評価	日本在宅ケア学会誌	26 (2)	161-169	2023
看護学科	横溝珠美, 中塚幹也	2023	その他	和文	多職種協働による周産期のメンタルヘルス支援	臨床助産ケア	16(1)	51-57	2023

所属	研究者	年度	区分	和文・欧文	タイトル	掲載誌名	巻(号)	記述ページ	発行年
看護学科	大内亜弓, 野口純子	2023	原著	和文	助産師外来でハイリスク妊婦に関わる助産師が直面する困難と対応	香川県立保健医療大学雑誌	第15巻	13-23	2024
看護学科	Matsumura C	2023	原著	欧文	The Effects of Complete Bed Baths Using Towels with Different Surface Properties - Comparison of Gauze and Synthetic Towels	International Journal of Nursing & Clinical Practices	Vol. 11	https://doi.org/10.15344/2394-4978/2024/390	2024
看護学科	竹内千夏, 平井智重子, 吉本知恵	2023	その他	和文	新型コロナウイルス感染症流行歌における教員を模倣患者とした老年看護学実習に対する看護学生の捉え	老年看護学	28(2)	79-87	2024
臨床検査学科	Himoto T, Masaki T	2023	総説	欧文	Current trends on the involvement of zinc, copper, and selenium in the process of hepatocarcinogenesis.	Nutrients	16(4)	472. doi:10.3390/nul6040472	2024
臨床検査学科	大栗聖由 上原一剛 佐々木強丸 本 意 中山裕美子 前垣義弘	2023	研究報告	和文	試作型脳波検査電極装着用シミュレータの開発	臨床検査学教育	in press		2024
臨床検査学科	Tanaka S, Tokuhara Y, Ariyasu S, Morinishi T, Yamamoto T, Teramoto N, Hirakawa E.	2023	原著	欧文	Diagnostic immunocytochemical staining with Peroxisome Proliferator-Activated Receptor-Gamma in urine cytology samples.	Acta Cytol	68(1)	60-65	2024
看護学科	森田公美子, 遠藤貴子	2023	原著	和文	乳がん看護認定看護師の臨床看護実践から形成されるプロフェッショナルリズム	日本がん看護学会誌	38	7-16	2024
看護学科	植村裕子, 松下有希子, 木戸久美子	2023	その他	和文	インドネシアの助産教育に関する報告	香川県立保健医療大学雑誌	15巻	31-36	2024
臨床検査学科	小河佳織, 大栗聖由, 樋本尚志	2023	原著	和文	超音波エラストグラフィ検査における関心領域の設定が僧帽筋の均衡測定に与える影響	香川県立保健医療大学雑誌	15巻	25-30	2024
看護学科	小林秋恵	2023	原著	和文	労働者への脳卒中一次予防教育活動を産業保健師と協働した脳卒中リスク管理/看護認定看護師の経験学	日本ニューロナース看護学会誌	9 (1)	15-23	2024
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	在宅移行期に求められるかかわり方：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第10回)	月刊ケアマネジャー	26 (1)	62-63	2024
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	家族の悲嘆に向き合う：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第11回)	月刊ケアマネジャー	26 (2)	62-63	2024
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	支える人を支える必要性：さらに究める実践力”逝き方”を考える。ケアマネジャーに求められる看取りの視点 (第12回)	月刊ケアマネジャー	26 (3)	62-63	2024
看護学科	片山陽子	2023	その他	和文	人生の最終段階にある人へのEOLとは：思いを尊重し最期の時を支える ACP実践事例に学ぶ意思決定支援	月刊ケアマネジャー特集号	26 (2)	6p-9p	2024
看護学科	廣川琳香, 森瑞希, 近藤真紀子	2023	総説	和文	胃切除後症候群に対する胃がん患者の困難と対処に関する文献研究	香川県立保健医療大学雑誌	15	1p - 11p	2024

2023年度研究業績（学会発表）

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
臨床検査学科	樋本尚志、正木 勉	2023	国内学会	一般演題	非アルコール性脂肪性肝疾患患者に対する栄養介入によって生じる体組成の変化について	第109回日本消化器病学会総会	長崎県	2023年4月
臨床検査学科	大栗聖由、多田達史	2023	国内学会	シンポジウム等	教育者の立場から	第46回香川県医学検査学会	高松市	2023年4月
臨床検査学科	金井創太郎、大栗聖由、岡西徹、前垣義弘	2023	国内学会	シンポジウム等	West症候群（乳児てんかん性スパスム症候群）への新しいアプローチ 乳児てんかん性スパスム症候群の予後予測を目的とした脳波解析	第65回小児神経学会学術集会	岡山県	2023年5月
看護学科	多田羅光美、土岐弘美	2023	国内学会	一般演題	シミュレーションの教育方法を用いた精神看護学の演習における学修成果と課題	日本精神保健看護学会第33回学術集会・総会	神戸市	2023年5月
臨床検査学科	樋本尚志	2023	国内学会	一般演題	NASHモデルにおける亜セレン酸ナトリウムおよびボラブレジンク併用投与による治療効果の検証	第59回日本肝臓学会総会	奈良県	2023年6月
臨床検査学科	大栗聖由、岡西徹、前垣義弘	2023	国内学会	シンポジウム等	脳波の周波数解析とその意義について 脳波解析の方法と実践例	第66回小児神経学会学術集会	岡山県	2023年6月
看護学科	Kumiko Kido, Yuko Uemura	2023	国際学会	一般演題	Change in sleep quality, churonic stress and depressive status among perinatal women in Japan	The 33th International Confederation of Midwives Trinial Congress	バリ（インドネシア）	2023年6月
看護学科	Yukiko Matsushita, Michiko Sogo, Yuko Uemura, Kumiko Kido, Kenji Kanenishi	2023	国際学会	一般演題	Midwife-led continuity of care model of practice	The 33th International Confederation of Midwives Trinial Congress	バリ（インドネシア）	2023年6月
看護学科	Yuko Uemura, Kumiko Kido, Mari Matsuo	2023	国際学会	一般演題	Report on midwifery care for women who gave birth in Japanese midwifery center	The 33th International Confederation of Midwives Trinial Congress	バリ（インドネシア）	2023年6月
看護学科	片山陽子	2023	国内学会	シンポジウム等	地域に学び、地域で活かす看護の力	第5回日本在宅医療連合学会学術集会	新潟県	2023年6月
臨床検査学科	川中結衣、松岡亮仁、川野桂太郎、池亀彰茂、近藤明宏、田岡輝久	2023	国内学会	一般演題	Venetoclax+azacitidineが有効であったMDSから移行した芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍	第62回日本血液学会中国四国地方会	愛媛県	2023年6月
看護学科	岡田麻里	2023	国内学会	シンポジウム等	地域に学び・地域で活かす看護の力_x005f_看護×学生×ボランティアの活動ー看護学生主体の地域サポート活動の戦略	第5回日本在宅医療連合学会大会	新潟県	2023年6月
臨床検査学科	金井 創太郎、大栗 聖由、岡西 徹、宮本 洋輔、前田 真範、矢崎 耕太郎、松浦 隆樹、戸澤 雄紀、佐久間 悟、千代延 友裕、浜野 晋一郎、前垣 義弘	2023	国内学会	一般演題	MRI異常のない乳児てんかん性スパスム症候群の治療前脳波検査に対する定量解析を利用したACTH療法の効果予測	第67回小児神経学会学術集会	岡山県	2023年7月
臨床検査学科	池亀彰茂、近藤明宏	2023	国内学会	一般演題	M1マクロファージによるNETs食食時にミエロペルオキシダーゼを介して生じる次亜塩素酸によりブレゼブシンが産生される機序の解明	第24回日本検査血液学術集会	名古屋市	2023年7月
臨床検査学科	池亀彰茂	2023	国内学会	シンポジウム等	骨髄異形成症候群（MDS）におけるフローサイトメトリ測定の有用性	第33回日本サイトメトリー学会学術集会	オンライン	2023年7月
看護学科	横溝珠実、森脇叶萌、赤澤真旗子	2023	国内学会	一般演題	学生妊婦の妊娠から育児を通しての困難感	第51回日本女性心身医学会学術集会	岡山県	2023年7月
看護学科	形山千明、横溝珠実、中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	東日本大震災を契機に岡山県内へ自主避難・母子避難した女性のメンタルヘルスに関する調査	第51回日本女性心身医学会学術集会	岡山県	2023年7月
臨床検査学科	高村里奈、仲山佳歩、多田達史	2023	国内学会	一般演題	生化学自動分析装置を用いたα-galactosidase活性測定法の検討	第17回生物試料分析科学会中四国支部学術集会	岡山県	2023年8月

所属	研究者	年度	国内・国際	種類	発表タイトル	集会等の名称	開催地	発表年月
看護学科	中矢遥香、山下玲子、中越利佳、枝川王鶴子	2023	国内学会	一般演題	産後1か月以降の母乳育児継続意図に関連する要因	日本看護研究学会第49回学術集会	オンライン	2023年8月
臨床検査学科	大栗聖由	2023	国内学会	特別講演等	脳波電極装着判定用シミュレータの開発	第17回 日本臨床検査教育学会学術大会	天理市	2023年8月
臨床検査学科	村川晴香、今治留菜、徳原康哲	2023	国内学会	一般演題	次亜塩素酸ナトリウム五水和物を用いたトリプトファンの新規染色法に関する基礎的検討	第17回生物試料分析科学会中国四国支部学術集会	岡山県	2023年8月
看護学科	小林秋恵、多田羅光美、森田公美子	2023	国内学会	一般演題	青年期に東日本大震災で被災した当事者が地域貢献活動に至るまでのライフヒストリー	一般社団法人日本看護研究学会第49回学術集会	オンライン	2023年8月
看護学科	片山陽子	2023	国内学会	シンポジウム等	本当の望みをかなえるためのACP	日本緩和医療学会第5回中国四国支部学術集会	香川県	2023年8月
臨床検査学科	横田崇之、福家典子、岩瀬孝志、岡田仁、目下隆	2023	国内学会	一般演題	Pazopanibで長期生存得た切除不能難治性胆管型横紋筋肉腫の一例	第65回日本小児血液がん学会	北海道	2023年9月
臨床検査学科	Takashi Himoto, Koji Fujita K, shima Mimura, Joji Tani, Asahiro Morishita, Tsutomu Masaki	2023	国際学会	一般演題	Roles of essential trace elements in the pathogenesis of HCV-related chronic liver disease and NASH.	3rd JSH International Liver conference	東京都	2023年9月
臨床検査学科	大栗聖由	2023	国内学会	特別講演等	大栗聖由 神経伝導検査と誘発脳波-pitfallと検査結果の解釈—	第20回小児神経入門講座・第41回米子セミナー	米子市	2023年9月
看護学科	森田公美子	2023	国内学会	一般演題	造血器腫瘍患者のエンドオブライフケアに関する文献レビュー	日本エンドオブライフケア学会第6回学術集会	群馬県 オンライン	2023年9月
看護学科	森田公美子、小林秋恵、多田羅光美	2023	国内学会	一般演題	東日本大震災において青年期にあった一被災者が見出した自分の体験を伝承することの意義	日本災害看護学会第25回年次大会	兵庫県	2023年9月
看護学科	岡田麻里	2023	国内学会	シンポジウム等	「文学・詩・対話から紐解くエンドオブライフケア」看護×地域×ブレインバックスアター	日本エンドオブライフケア学会 第6回学術集会 市民公開講座1 シンポジウム	群馬県	2023年9月
看護学科	岡田麻里、片山陽子、小出恵子、尾形由紀子、横溝珠実	2023	国内学会	一般演題	多臓器チームを基盤とする看取り事例の特徵と看取りケアの振り返り開催理由	日本エンドオブライフケア学会 第6回学術集会	群馬県	2023年9月
臨床検査学科	中川準也、佐々木のはら、西岡凌、末澤千草、奥田潤	2023	国内学会	一般演題	緑膿菌管腔経路関連遺伝子を介した腸管上皮細胞層透過機構の解析	第76回日本細菌学会中国・四国支部総会	オンライン	2023年10月
臨床検査学科	末澤千草、佐々木のはら、奥田潤	2023	国内学会	一般演題	Edwardsiella piscicida の病原因子に対する塩濃度の影響	第76回日本細菌学会中国・四国支部総会	オンライン	2023年10月
臨床検査学科	岡田仁	2023	国内学会	シンポジウム等	正確なビリルビン測定とは	第21回日本新生児黄疸管理研究会	香川県	2023年10月
臨床検査学科	森田啓督、有岡誠、小谷野耕佑、尾崎美世、安田真之、岡田仁、伊藤進、目下隆	2023	国内学会	一般演題	ビリルビンオキシダーゼ法による直接ビリルビン測定値へのビリルビン光異性体の影響	第21回日本新生児黄疸管理研究会	香川県	2023年10月
看護学科	木戸久美子、三谷明美、植村裕子	2023	国内学会	一般演題	母親のゲートキープリング傾向と父親の育児関与に関する文献検討	第64回日本母性衛生学会	大阪府	2023年10月
看護学科	木戸久美子、三谷明美、植村裕子	2023	国内学会	一般演題	乳児期の子育てを行う父親の育児の様子とこころの健康状態	第37回日本助産学会	オンライン	2023年10月
看護学科	三谷明美、木戸久美子	2023	国内学会	一般演題	妊娠後期から育児期（産後1年）における父親の抑うつ状態に関する縦断研究	第37回日本助産学会	オンライン	2023年10月
看護学科	植村裕子、木戸久美子	2023	国内学会	一般演題	外国人留学生における精神的健康の関連要因	第64回日本母性衛生学会	大阪府	2023年10月
看護学科	植村裕子、木戸久美子	2023	国内学会	一般演題	母性看護学教育におけるシミュレーションを導入した教育設計モデルの検証	第37回日本助産学会	オンライン	2023年10月
臨床検査学科	近藤明宏、森西起也、山口雄介、池亀彰彦	2023	国内学会	一般演題	好中球細胞外トラップ(NETs)を貪食したM1マクロファージによるプレセプシン産生機序の解明	日本医療検査科学会第55回大会	神奈川県	2023年10月

所 属	研 究 者	年 度	国 内・国 際	種 類	発 表 タ イ ト ル	集 会 等 の 名 称	開 催 地	発 表 年 月
看護学科	横溝珠美, 河田明日香, 山川詩織, 佐藤美由子, 難波玲奈, 田中映里, 小野裕香, 木岡未奈美, 岩田歩子, 江口珠美, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	緊急避妊薬の薬局での販売についての大学生の意識	第64回日本母性衛生学会学術集会	大阪府	2023年10月
看護学科	佐藤美由子, 河田明日香, 山川詩織, 難波玲奈, 田中映里, 小野裕香, 木岡未奈美, 江口珠美, 岩田歩子, 横溝珠美, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	大学生における包括的性教育の実態と意識	第64回日本母性衛生学会学術集会	大阪府	2023年10月
看護学科	江口珠美, 岩田歩子, 河田明日香, 山川詩織, 佐藤美由子, 難波玲奈, 田中映里, 小野裕香, 木岡未奈美, 横溝珠美, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	性的マイノリティ当事者のスポーツ活動に対する医療系大学生の意識	第64回日本母性衛生学会学術集会	大阪府	2023年10月
看護学科	岩田歩子, 江口珠美, 河田明日香, 山川詩織, 佐藤美由子, 難波玲奈, 田中映里, 小野裕香, 木岡未奈美, 横溝珠美, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	大学生におけるLGBTQ関連法成立や制度改善への意識	第64回日本母性衛生学会学術集会	大阪府	2023年10月
看護学科	鎌田紗歩, 田端李帆, 伏谷あすみ, 岡田慧美, 轟真歩, 横溝珠美, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	精神科・心療内科の医療スタッフにおける「妊産婦のメンタルケアのための連携」への意識と実態	第64回日本母性衛生学会学術集会	大阪府	2023年10月
看護学科	横溝珠美, 芳我ちより, 甲斐大介	2023	国内学会	一般演題	基本チェックリストで判定したフレイルは医療費の上昇を予測する指標となりうるか	第82回日本公衆衛生学会学術集会	大阪府	2023年10月
看護学科	芳我ちより, 横溝珠美	2023	国内学会	一般演題	70歳以上の体格はその後4年間の要介護リスクとなりうるか	第43回日本看護科学学会学術集会	大阪府	2023年10月
看護学科	植田 美和、枝川千鶴子	2023	国内学会	一般演題	NICU入院後 24時間における極低出生体重児の体温変化とその影響要因の実態	第32回日本新生児看護学会学術集会	神奈川県	2023年11月
看護学科	井戸本由美子, 中尾教伸, 比江島欣暲	2023	国内学会	一般演題	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査からみた認知機能低下をもたらす要因	第82回公衆衛生学会総会	つくば市	2023年11月
看護学科	植原千明、藤村保志花、辻よしみ、佐々木鍾子	2023	国内学会	一般演題	公衆衛生看護学実習における事例検討会での保健師の学び	第82回日本公衆衛生学会総会	つくば市	2023年11月
看護学科	辻よしみ、藤村保志花、植原千明	2023	国内学会	一般演題	A県における行政保健師の就業人数の推移	第82回日本公衆衛生学会総会	つくば市	2023年11月
臨床検査学科	徳原康哲	2023	国内学会	シンポジウム等	論文投稿の経験から会誌の在り方を考える～若手研究者の視点から～	第70回日本臨床検査医学学術集会	長崎県	2023年11月
臨床検査学科	榑本尚志, 藤田浩二, 三村志麻, 谷 丈二、森下朗洋, 正木 勉	2023	国内学会	一般演題	非アルコール性脂肪肝炎患者における血清VEGF値測定 of 臨床的意義について	第45回日本肝臓学会西部会	京都府	2023年12月
臨床検査学科	岡西徹 大栗聖由 西山正志	2023	国内学会	特別講演等	小児の急性脳症における神経生理	第53回日本臨床神経生理学学術集会	福岡県	2023年12月
臨床検査学科	大栗 聖由, 近藤 秀則, 柚木 正敏, 山崎 博輝, 高松 直子, 和泉 唯信	2023	国内学会	特別講演等	手術前後の腓骨神経障害評価に神経超音波検査が有用であった1例	第54回日本臨床神経生理学学術集会	福岡県	2023年12月
臨床検査学科	大栗 聖由, 高井 一志, 近藤 秀則, 柚木 正敏	2023	国内学会	一般演題	頭椎性神経根症の障害部位評価に超音波検査を用いた1例	第55回日本臨床神経生理学学術集会	福岡県	2023年12月
看護学科	新井惠津子	2023	国内学会	一般演題	糖尿病を併存疾患にもつ患者の周術期看護における文献検討	第43回日本看護科学学会学術集会	山口県	2023年12月
看護学科	土岐弘美, 福田亜紀, 多田羅光美, 則包和也	2023	国内学会	一般演題	身体科の看護師が感じるメンタルヘルス不調者の対応の困難さに関する文献レビュー	第43回日本看護科学学会学術集会	下関市	2023年12月
看護学科	久保佳代, 井智智重子, 増田博彦, 三宅速, 光中弘毅	2023	国内学会	一般演題	透析患者を対象に外来で行うフットケアに関する文献検討	第4回日本フットケア・足病医学学会学術集会	沖縄県	2023年12月
看護学科	重兼望	2023	国内学会	一般演題	新人看護師の教育担当者が他部署の教育担当者との関わりから受ける影響	第43回日本看護科学学会学術集会	山口県	2023年12月
看護学科	片山陽子	2023	国内学会	シンポジウム等	わが街で自分らしく暮らす	第6回香川県地域包括ケアシステム学会	香川県	2023年12月

所 属	研 究 者	年 度	国 内・国 際	種 類	発 表 タ イ ト ル	集 会 等 の 名 称	開 催 地	発 表 年 月
看護学科	岡田麻里, 竹内千夏	2023	国内学会	一般演題	ブレイバックシアターを活用したチーム医療の授業紹介	第21回広島保健福祉学会学術大会	広島県	2023年12月
看護学科	長江弘子, 谷垣静子, 片山陽子, 坂井志麻, 岡田麻里, 横溝珠実, 仁科祐子, 酒井昌子, 彦 聖美, 桑越千枝, 高橋在也, 岩城典子, 照井レナ, 青山美紀子, 山田案美加, 那須真弓, 小池愛弓	2023	国内学会	シンポジウム等	健康な方へのACP推進に向けた試み：自分の大切していることについて対話促進するカードゲームの開発	日本看護科学学会第43回交流集会55	山口県	2023年12月
看護学科	藤村保志花, 辻よしみ, 植原千明	2023	国内学会	一般演題	自治体保健師のオンライン活用状況～ICT環境の実態調査～	第12回日本公衆衛生看護学科総会	福岡県	2024年1月
看護学科	辻よしみ, 藤村保志花, 植原千明	2023	国内学会	一般演題	自治体保健師のオンライン活用状況～保健事業での活用～	第12回日本公衆衛生看護学科総会	福岡県	2024年1月
看護学科	高橋尚希, 重康亜美, 森田公美子, 塩井厚子	2023	国内学会	一般演題	緩和ケア病棟看護師のがん患者に対するスビリチュアルケアの実践	第38回日本がん看護学会学術集会	兵庫県	2024年2月
看護学科	岩本真紀, 藤田佐和	2023	国内学会	一般演題	再発・転移がんサバイバーに対するストレートニングに焦点をあてたエキスパートナースの看護実践	第38回日本がん看護学会学術集会	兵庫県	2024年2月
臨床検査学科	仲山佳歩, 多田達史	2023	国内学会	一般演題	生化学自動分析装置によるα-galactosidase活性測定法の検討	第34回生物試料分析科学会年次学術集会	大阪府	2024年3月
臨床検査学科	Takashi Himoto, Keiko Miyatake, Takashi Maebe, Tsutomu Masaki, 則包和也	2023	国際学会	一般演題	Clinical characteristics of non-obese patients with nonalcoholic fatty liver disease.	33rd annual meeting of the APASL	京都府	2024年3月
看護学科	壇上楓奈, 森田公美子	2023	国際学会	一般演題	Benefits of Metacognitive Training	8th Asian CBT Congress	ニューデリー (インド)	2024年3月
看護学科	欽木優花, 高橋昂明, 西山千尋, 岡西幸恵	2023	国内学会	一般演題	失語症者と生活をともにする家族の体験に関する文献研究	日本看護研究学会中国・四国地方会第36回学術集会	島根県	2024年3月
看護学科	吉岡育代, 岩本真紀	2023	国内学会	一般演題	糖尿病患者へのセルフケア支援に関する文献検討-糖尿 病看護の経験豊富な看護師の実践から-	日本看護研究学会中国・四国地方会第36回学術集会	島根県	2024年3月
看護学科	横溝珠実, 木岡未奈美, 樫野千明, 岩田歩子, 江口珠美, 大島義孝, 松本洋輔, 新井富士美, 佐藤俊樹, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	脳死下臓器提供に携わる集中治療領域の看護師によるドナー患者及び家族への関わり	第51回日本集中治療医学会学術集会	札幌市	2024年3月
看護学科	樫野千明, 山下もも子, 岩田歩子, 江口珠美, 横溝珠実, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	トランスジェンダー当事者の就職活動時の課題	第25回日本GID学会	沖縄県	2024年3月
看護学科	江口珠美, 木岡未奈美, 横溝珠実, 岩田歩子, 樫野千明, 大島義孝, 松本洋輔, 新井富士美, 佐藤俊樹, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	学校での『性の多様性』に関する教育」の実態と意識	第25回日本GID学会	沖縄県	2024年3月
看護学科	江口珠美, 木岡未奈美, 横溝珠実, 岩田歩子, 樫野千明, 大島義孝, 松本洋輔, 新井富士美, 佐藤俊樹, 中塚幹也	2023	国内学会	一般演題	トランスジェンダー当事者の職場におけるSOGIハラ スメントとメンタルヘルスの状況	第25回日本GID学会	沖縄県	2024年3月

2023年度研究業績（主催学会・研究会）

所属	研究者	年度	学会・研究会名	開催地	発表年月
看護学科	辻よしみ、藤村保志花	2023	全国保健師教育機関協議会 中国・四国ブロック研修会	岡山市	2023年9月
看護学科	植原千明、辻よしみ	2023	令和5年度 香川県立保健医療大学 保健師研修会（根若会）	高松市	2023年11月
看護学科	辻よしみ、藤村保志花	2023	全国保健師教育機関協議会 中国・四国ブロック研修会	高松市	2024年1月
看護学科	日下隆、尾崎隆、枝川千鶴子、尾崎典子、岡田仁、加藤豊、鈴木裕美、谷本公重、徳地暢子、松本祐子	2023	第16回香川県小児保健協会研究会	高松市	2024年2月
看護学科	多田羅光美、則包和也	2023	メンタルヘルス研究会 研修会	高松市	2024年2月
臨床検査学科	大栗聖由	2023	第11回 日本臨床神経生理検査研究会 中国四国支部研修会	オンライン	2024年3月
看護学科	若年性認知症支援コーディネーター事業，土岐弘美	2023	若年性認知症コーディネーター事業会議，研修会	高松市	2024年3月

2023年度研究業績（講演会等）

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	長江弘子, 谷垣静子, 酒井昌子, 足立智孝, 片山陽子, 坂井志麻, 岩城典子, 高橋在也, 岡田麻里, 彦聖子, 横溝朱美, 他	2023	Let's Talk DAY	Let's Talk DAY! あなたにとって大切にしたいことを考え、語ろう	千葉県	2023年4月
看護学科	植原千明	2023	令和5年度西讃保健福祉事務所事例検討会	事例検討の目的、方法、留意点	観音寺市	2023年5月
看護学科	小林秋恵	2023	新人看護職員多施設合同研修会新人指導者対象研修	看護基礎教育の現状、新人看護師の技術習得状況	高松市	2023年5月
看護学科	小林秋恵	2023	香川県看護協会研修「看護研究」	看護研究の基本	高松市	2023年5月
看護学科	片山陽子	2023	日本エンドオブライフケア学会意思表明支援セミナー	第2期ベアセッションセミナー	オンライン	2023年5月
看護学科	片山陽子, 長江弘子, 足立智孝, 岩崎孝子, 坂井志麻, 角田西川裕理, 山縣千尋, 中村円, 岡田麻里	2023	「ACPを推進するための実践・教育・研究委員会」オンラインセミナー	ベアセッションレベ	オンライン	2023年5月
看護学科	辻よしみ	2023	高松市プリセプター研修	プリセプターの役割	高松市	2023年6月
看護学科	片山陽子	2023	愛媛大学地域連携推進機構地域協働センター公開講座	人生会議のススメ、大切な人に伝えたい人生の選択	松山市	2023年6月
看護学科	片山陽子	2023	愛媛県介護支援専門員協会研修会	ACPケアマネの理解と実践	松山市	2023年6月
看護学科	片山陽子	2023	日本エンドオブライフケア学会意思表明支援セミナー	第2期ファーストセミナー	オンライン	2023年6月
看護学科	植原千明	2023	2023年度第1回全国保健師職能委員長会	「保健師活動の展開推進及び統括保健師の役割遂行力開発」に関する研究報告	東京都	2023年7月
看護学科	辻よしみ	2023	保健指導実践者育成研修	保健指導の展開・評価	高松市	2023年7月
看護学科	辻よしみ	2023	東讃・小豆新任期保健師研修会	新任期コンサルテーション	高松市	2023年7月
看護学科	辻よしみ	2023	中讃新任期保健師研修会	新任期コンサルテーション	丸亀市	2023年7月
看護学科	辻よしみ	2023	東讃・西讃新任期保健師研修会	新任期コンサルテーション	高松市	2023年7月
看護学科	辻よしみ	2023	中讃新任期保健師研修会	新任期コンサルテーション	丸亀市	2023年7月
看護学科	辻よしみ	2023	高松市新任期保健師研修会	新任期コンサルテーション	高松市	2023年7月
看護学科	辻よしみ	2023	高松市新任期保健師研修会	新任期コンサルテーション	高松市	2023年7月
看護学科	小林秋恵	2023	看護力再開発講習会	看護過程・看護記録	高松市	2023年7月
看護学科	片山陽子	2023	徳島県看護協会訪問看護支援センター研修	質の高い看取りに必要なケア、意思決定支援	徳島市	2023年7月
看護学科	片山陽子	2023	名古屋医療サービス事業団令和5年度ACP研修会	地域におけるACPの実践	名古屋市	2023年7月
看護学科	片山陽子	2023	日本エンドオブライフケア学会意思表明支援セミナー	第2期セカンドセミナー	オンライン	2023年7月
看護学科	片山陽子, 酒井昌子, 川添 坂井志麻, 西川裕理, 加藤裕規, 中村円, 岡田麻里	2023	「ACPを推進するための実践・教育・研究委員会」オンラインセミナー	セカンドレベ	オンライン	2023年7月
看護学科	土岐弘美	2023	三豊市民病院 看護職員研修会	コンサルテーション (8月9日)	三豊市	2023年8月
看護学科	土岐弘美	2023	三豊市民病院 看護職員研修会	コンサルテーション (8月31日)	三豊市	2023年8月
看護学科	土岐弘美	2023	香川県立図書館 令和5年度第1回健やか生活応援講座	認知症とうまく付き合うために知っておきたいこと	高松市	2023年8月
看護学科	辻よしみ	2023	香川県プリセプター研修	プリセプターの役割	高松市	2023年8月
看護学科	辻よしみ	2023	東讃保健師福祉事務所保健師研修会	事例検討の基本	高松市	2023年8月
看護学科	辻よしみ	2023	中讃新任期保健師研修会	新任期コンサルテーション	高松市	2023年8月

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	辻よしみ	2023	香川県新任保健師研修会	保健師に求められる個別支援～前向き子育て支援から学ぶ～	高松市	2023年8月
看護学科	片山陽子	2023	屋島総合病院看護部研修会	臨床実習における学生指導	高松市	2023年8月
看護学科	片山陽子	2023	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	患者家族の意思決定支援のポイント	高松市	2023年8月
看護学科	比江島欣慎	2023	令和5年度全保教中国・四国ブロック研究会	コロナ禍で私がしたこと、今していること～ICTを利用した講義編～	岡山市	2023年9月
看護学科	植原千明	2023	令和5年度第1回全国保健師教育機関協議会中国・四国ブロック研究会	地域診断におけるビッグデータの活用	岡山県	2023年9月
看護学科	則包和也	2023	看護のための認知行動療法研究会 第7回研修会	精神科看護師が知っておきたいMCT -使いやすさと受け入れやすさ-	東京都	2023年9月
看護学科	森田公美子	2023	香川県教育委員会	学校におけるがん教育の授業（ゲストティーチャー）がんと学ぼう	東かがわ市	2023年9月
看護学科	辻よしみ	2023	高松市新任保健師研修会	新任期コンサルテーション	高松市	2023年9月
看護学科	辻よしみ	2023	高松市新任保健師研修会	新任期コンサルテーション	高松市	2023年9月
看護学科	辻よしみ	2023	中堅期保健師研修会	中堅期コンサルテーション	高松市	2023年9月
看護学科	辻よしみ	2023	中堅期保健師研修会	中堅期コンサルテーション	高松市	2023年9月
看護学科	小林秋恵	2023	香川県看護協会研修「看護研究」	看護研究個別指導	高松市	2023年9月
看護学科	片山陽子	2023	香川県看護協会訪問看護推進研修	地域におけるヘルスケアサービスの仕組みと連携	高松市	2023年9月
看護学科	片山陽子	2024	香川県看護協会訪問看護養成研修	訪問看護の基礎	高松市	2023年9月
看護学科	片山陽子	2023	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	神経難病への支援	高松市	2023年9月
看護学科	野口純子	2023	性教育講演会：香川県立農業経営高等学校	「命の講話」あなたと私の大切ないのち	綾歌郡綾川町	2023年10月
看護学科	野口純子	2023	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	看護教育課程（助産師）	高松市	2023年10月
看護学科	木戸久美子	2023	香川県母性衛生 性サポーター事業	今知っておきたい性の知識	綾歌郡綾川町	2023年10月
看護学科	植村裕子	2023	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	実習指導の概論	高松市	2023年10月
看護学科	土岐弘美	2023	介護労働安定センター香川県支部 ケアサポー ト研修	認知症ケアについて	さぬき市	2023年10月
看護学科	土岐弘美	2023	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	集団討議の方法	高松市	2023年10月
看護学科	辻よしみ	2023	実習指導者講習会	保健師教育課程	高松市	2023年10月
看護学科	辻よしみ	2023	中堅期保健師研修会	ファシリテーターの役割とスキルを学ぶ	高松市	2023年10月
看護学科	竹内千夏	2023	香川県立図書館 令和5年度第1回健やか生活応援講座	あなたと大切な人との安心した生活を送るために～介護について考えよう～	高松市	2023年10月
看護学科	小林秋恵	2023	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	実習指導の概論：基礎看護学	高松市	2023年10月
看護学科	小林秋恵	2023	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	指導案作成の考え方	高松市	2023年10月
看護学科	片山陽子	2023	さぬき市民病院研修会	ACPに関する基礎知識	さぬき市	2023年10月
看護学科	片山陽子	2023	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	慢性疾患の高齢者への支援	高松市	2023年10月
看護学科	片山陽子	2023	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	在宅看護：実習指導の概論	高松市	2023年10月
看護学科	吉本知恵	2023	香川県保健師助産師看護師実習指導者講習会	実習指導の概論：老年看護学	高松市	2023年10月
看護学科	土岐弘美	2023	香川県立高松南高等学校「こことからの理解」	認知症の人へのさまざまなアプローチ	高松市	2023年11月
看護学科	土岐弘美	2023	高知医療センター看護局キャリア開発&ストレスマネジメント研修	20年目の看護師のストレスマネジメント	高知県	2023年11月
看護学科	辻よしみ	2023	高松市新任保健師研修会	事例検討の基本	高松市	2023年11月

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
臨床検査学科	池亀彰茂	2023	日本サイトメトリ-技術者 指導講習会	フローサイトメトリ-の検査法における検体採取およびサンプル調整	大阪府	2023年11月
看護学科	片山陽子	2023	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	認知症高齢者への支援	高松市	2023年11月
看護学科	片山陽子	2023	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	成年後見制度と老後	高松市	2023年11月
看護学科	木戸久美子	2023	香川県母性衛生 性サポ-ト事業	今知っておきたい性の知識	綾歌郡綾川町	2023年12月
看護学科	植村裕子	2023	香川県教育委員会 いのちのせんせい	高松市立国分寺南部小学校：たいせつないのち	高松市	2023年12月
看護学科	土岐弘美	2023	香川県地域包括ケアシステム学会 チームオレ ンジ設立支援事業 認知症ステップアップ講座	認知症の基礎知識、認知症の人の気持ちを理解する	琴平町	2023年12月
看護学科	辻よしみ	2023	中堅期保健師研修会	中堅期コンサルテーション	高松市	2023年12月
看護学科	小林秋恵	2023	香川県看護協会研修「看護研究」	看護研究個別指導	高松市	2023年12月
看護学科	片山陽子	2023	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	地域における在宅医療の課題	高松市	2023年12月
看護学科	片山陽子	2023	福岡市多職種連携研修会	地域におけるACPの実践	福岡市	2023年12月
看護学科	片山陽子	2023	日本在宅ケア学会看護イノベーション セミナー	エコーを用いた在宅ケア支援とテレナ-シ ン	オンライン	2023年12月
看護学科	植村裕子	2023	香川県教育委員会 いのちのせんせい	普通寺市立中央小学校：大切ないのち	普通寺市	2024年1月
看護学科	土岐弘美	2023	香川県薬剤師会「認知症対応向上ステップ アップ研修」	認知症をもつ人の気持ちを尊重した接し方を考 えよう	高松市	2024年1月
看護学科	土岐弘美	2023	香川県地域包括ケアシステム学会 チームオレ ンジ設立支援事業 認知症ステップアップ講座	認知症の基礎知識、認知症の人の気持ちを理解 する	綾川町	2024年1月
看護学科	辻よしみ	2023	中讃保健師福祉事務所保健師研修会	事例検討の基本	高松市	2024年1月
看護学科	辻よしみ	2023	中堅期保健師研修会	中堅期コンサルテーション	高松市	2024年1月
看護学科	小林秋恵	2023	看護力再開発講習会	看護過程・看護記録	高松市	2024年1月
看護学科	片山陽子	2023	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	在宅継続するための医療支援	高松市	2024年1月
看護学科	片山陽子	2023	日本エンドオブライフケア学会意思表明支援セ ミナー	第1期ベ-シックセミナー	オンライン	2024年1月
看護学科	筒井邦彦	2023	感染管理認定看護師教育 (B課程)	感染に係る薬剤投与関連	高松市	2024年1月
看護学科	片山陽子, 長江弘子, 足立智孝, 岩崎孝子, 坂井 志麻, 角田 西川裕理, 山縣千尋, 中村円, 岡 田麻里	2023	「ACPを推進するための実践・教育・研究委員 会」オンラインセミナー	ベ-シックレベル	オンライン	2024年1月
看護学科	植村裕子	2023	香川県教育委員会 いのちのせんせい	普通寺市立南部小学校：たいせつないのち	普通寺市	2024年2月
看護学科	土岐弘美	2023	香川県地域包括ケアシステム学会 チームオレ ンジ設立支援事業 認知症ステップアップ講座	認知症の基礎知識、認知症の人の気持ちを理解 する	多度津町	2024年2月
看護学科	辻よしみ	2023	東讃・西讃新任保健師研修会	新任期コンサルテーション	丸亀市	2024年2月
看護学科	辻よしみ	2023	東讃・小豆新任保健師研修会	新任期コンサルテーション	高松市	2024年2月
看護学科	辻よしみ	2023	中堅期保健師研修会成果報告会	コメンテーター	高松市	2024年2月
看護学科	辻よしみ	2023	綾川町子育て応援後援会	綾川町で前向きに子育てしよう：講演	綾川町	2024年2月
看護学科	小林秋恵	2023	香川県シ-ムレスケア研究会合同シンポジウ ム	労働者への脳卒中一次予防教育	高松市	2024年2月
看護学科	片山陽子	2023	高松市社会福祉士会権利擁護支援セミナー	住み慣れた地域で最期まで自分らしく尊厳を 持って生きる	高松市	2024年2月
看護学科	片山陽子	2023	日本エンドオブライフケア学会意思表明支援セ ミナー	第1期ベ-シックセミナー	オンライン	2024年2月

所属	研究者	年度	研究会・研修会の名称	講演タイトル	開催地	開催日
看護学科	片山陽子	2023	日本在宅ケア学会看護イノベーションセッション	エコーを用いた在宅ケア支援とテレナースニングによる在宅療養支援第2回	オンライン	2024年2月
看護学科	岡田麻里, 虫明美喜, 虫明元	2023	多大学・多学部学生が交流するブレイバックスシアターを活用した参加型授業の取り組み	一あおばブレイバックスシアターと一緒にストーリーリーカーからの学びを体験しようー	高松市	2024年2月
看護学科	比江島欣慎	2023	教理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム	因果推論を基盤としたクリニカルデータサイエンス教育の実践	高松市	2024年3月
看護学科	藤村保志花	2023	綾川町子育て応援後援会	綾川町で前向きに子育てしよう：演習編	綾川町	2024年3月
看護学科	片山陽子	2023	高松市在宅医療コーディネーター養成研修会	在宅医療コーディネータースキラアップ	高松市	2024年3月
看護学科	片山陽子	2023	日本エンドオブライフケア学会意思表明支援セミナー	第1期セカンドセミネナー	オンライン	2024年3月
看護学科	片山陽子	2023	新潟県歯科衛生士会研修会	知りたいAdvance Care Planning	オンライン	2024年3月
看護学科	片山陽子, 酒井昌子, 川添 坂井志麻, 西川裕理, 加藤裕規, 中村円, 岡田麻里	2023	「ACPを推進するための実践・教育・研究委員会」オンラインセッション	セカンドレベル	オンライン	2024年3月

2023年度研究業績（科研費）

所属	研究者	代表者・分担者	分担者の場合は 代表者名	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額 (円単位)
臨床検査学科	奥田 潤	代表者		2023	III型分泌機構に着眼したエドワーズ症原因細菌の病原機構解析と新規予防法の開発	基盤C	継続	1,170,000
臨床検査学科	奥田 潤	分担者	末澤 千草	2023	緑膿菌による腸管経由内因性血液感染機構の解析とそれに基づいた防止策の考案	基盤C	新規	200,000
看護学科	枝川 千鶴子	分担者	豊田 ゆかり	2023	医療的ケア児の地域包括ケアを推進するための「共助」にむけた連携システム開発	基盤C	継続	—
看護学科	植原千明	分担者	辻よしみ	2023	遠隔研修による新任保健師の実践能力獲得のプロセス	基盤C	継続	—
看護学科	松村千鶴	代表者		2023	安全・快適、コストパフォーマンスを実現する清潔ケアキットの開発と推進戦略の構築	基盤C	継続	1,740,000
看護学科	竹内千夏	代表者		2023	回復期にある高齢脳血管疾患患者への看護師のシームレスケア実践ガイドラインの開発	基盤C	継続	800,000
臨床検査学科	新美 健太	代表者		2023	血管新生における転写抑制因子Blimp1の機能解析	若手	継続	1,430,000
臨床検査学科	新美 健太	分担者	古山 達雄	2023	リンパ管内皮細胞におけるFoxo1のFerroptosis調節への関与	基盤C	継続	1,120,000
臨床検査学科	古山達雄	代表者		2023	リンパ管内皮細胞におけるFoxo1のFerroptosis調節への関与	基盤C	継続	300,000
臨床検査学科	大栗聖由	代表者		2023	社会実装のための機械学習を用いた急性脳症自動鑑別診断法の開発	若手	継続	1,300,000
看護学科	則包和也	代表者		2023	精神科訪問看護におけるメタ認知トレーニング（個人用）の介入による効果の検討	基盤C	継続	500,000
看護学科	則包和也	代表者		2023	看護師が実践する「うつ病のためのメタ認知トレーニング」の効果検証	基盤C	継続	962,000
看護学科	則包和也	分担者	西村三八	2023	精神障害者の社会的健康の獲得にむけた生活及び就労継続に関する現状と支援態勢の検討	基盤C	継続	356,000

所 属	研 究 者	代 表 者・分 担 者	分 担 者 の 場 合 は 代 表 者 名	年 度	研 究 課 題 名	研 究 種 目	新 規・継 続	交 付 金 額 (円 単 位)
臨床検査学科	徳原康哲	代表者		2023	新規アミノ酸発色法を用いた臨床検査法の開発	基盤C	継続	1,040,000
看護学科	木戸久美子	代表者		2023	母親のゲートキーピングへの介入ー妊娠期から始める産後うつ病予防の効果検証ー	基盤C	新規	910,000
看護学科	木戸久美子	分担者	田中和子	2023	在留外国人妊産婦へのグローバル周産期看護ケアに関する基盤的調査研究	基盤C	継続	1,690,000
看護学科	多田羅光美	代表者		2023	リカバリー概念にに基づくAYA世代精神障がい者の生涯発達を踏まえた地域生活支援の検討	若手	新規	910,000
看護学科	森田公美子	代表者		2023	多発性骨髄腫患者の喪失への適応を支援する外来看護モデルの構築	若手	継続	—
看護学科	植村裕子	代表者		2023	VR技術を応用した育児技術シミュレーションプログラムの開発と評価	若手	新規	1,333,000
看護学科	土岐弘美	代表者		2023	軽度認知症の人の自己コントロールを高める看護支援プログラムの開発	基盤C	継続	—
看護学科	土岐弘美	代表者		2023	軽度認知症の人の自己を支えるケアガイドラインの開発	基盤C	新規	1,430,000
看護学科	土岐弘美	分担者	中平洋子	2023	地域包括ケアに対応する精神障がい者の家族の家族レジリエンスを促す支援モデルの開発	基盤C	継続	—
看護学科	土岐弘美	分担者	田井雅子	2023	認知症の人と家族の家族の伴走を支援する家族看護援助モデルの開発	基盤C	継続	520,000
臨床検査学科	末澤千草	代表者		2023	緑内障による腸管経路内因性血液感染機構の解析とそれに基づいた防止策の考案	基盤C	新規	1,170,000
臨床検査学科	末澤千草	分担者	奥田潤	2023	III型分泌機構に着目したエドワーズ原因細菌の病原機構解析と新規予防法の開発	基盤C	継続	100,000
看護学科	辻よしみ	代表者		2023	遠隔研修による新任保健師の実践能力獲得のプロセス	基盤C	継続	500,000
看護学科	藤村保志花	分担者	辻よしみ	2023	遠隔研修による新任保健師の実践能力獲得のプロセス	基盤C	継続	—

所属	研究者	代表者・分担者	分担者の場合は 代表者名	年度	研究課題名	研究種目	新規・継続	交付金額 (円単位)
看護学科	辻よしみ	分担者	片山陽子	2023	生活基盤の対象理解目標指向型実践力を育むICTを活用とした教育プログラムの開発	基盤B	継続	100,000
看護学科	岩本真紀	代表者		2023	外来化学療法を受けるがんサバイバーのストレスレングス尺度の開発	基盤C	継続	—
看護学科	岩本真紀	代表者		2023	外来がん薬物療法を受けるがんサバイバーのストレスレングス看護介入モデルの開発と評価	基盤C	新規	1,690,000
看護学科	片山陽子	代表者		2023	生活基盤の対象理解目標指向型実践力を育むICTを活用とした教育プログラムの開発	基盤B	継続	3,510,000
看護学科	片山陽子	分担者	山本大祐	2023	中山間地域で継ぎ目のない看取り支援を可能にする訪問看護育成モデルの開発	基盤C	継続	—
看護学科	片山陽子	分担者	岡田麻里	2023	訪問看護師の多職種協働による地域看取りケアの振り返り支援教育プログラムの開発	基盤C	継続	100,000
看護学科	片山陽子	分担者	酒井昌子	2023	高齢心不全患者の望む生活と最期を支える訪問看護師の判断と実践の明確化	基盤C	継続	—
看護学科	片山陽子	分担者	長江弘子	2023	行政と協働した日本型対話促進ACPモデルによる教育的介入と社会的スキームの実装	基盤B	継続	65,000
看護学科	岡田麻里	分担者	片山陽子	2023	生活基盤の対象理解目標指向型実践力を育むICTを活用とした教育プログラムの開発	基盤B	継続	100,000
看護学科	岡田麻里	分担者	小出恵子	2023	優先順位に基づく保健活動を推進するスクラップ&ビルド実践ガイドライン	基盤C	継続	50,000
看護学科	岡田麻里	分担者	仁科佑子	2023	若手訪問看護師の自律性を育成するための全国若手ナース実践共有型学修システムの構築	基盤B	継続	200,000
看護学科	岡田麻里	分担者	尾形由起子	2023	退職期にある住民主体の看取り・看取られ力量形成プログラムの開発	基盤C	継続	30,000
看護学科	岡田麻里	代表者		2023	訪問看護師の多職種協働による地域看取りケアの振り返り支援教育プログラムの開発	基盤C	継続	500,000
看護学科	横溝珠実	代表者		2023	保健師と助産師における「気になる」妊産婦の捉え方の相違と虐待予防連携	基盤C	継続	860,770

所 属	研 究 者	代 表 者・分 担 者	分 担 者 の 場 合 は 代 表 者 名	年 度	研 究 課 題 名	研 究 種 目	新 規 ・ 継 続	交 付 金 額 (円 単 位)
看護学科	横溝珠実	分担者	弘中藍子	2023	里帰り分娩をしない親のこべアレンディングの特徴解明による育児支援体制の構築	基盤C	新規	20,000

2023年度研究業績（その他助成金）

所属	研究者	年度	助成金の名称	区分	新規・継続	研究課題名	補助金額 (円単位)
臨床検査学科	奥田 潤	2023	キヤノンメディカルシステムズとの学外共同研究	その他の助成金	継続	簡易分析装置における新規検査方法の検討及び性能評価に関する研究	1,250,000
臨床検査学科	多田 達史	2023	キヤノンメディカルシステムズとの学外共同研究	その他の助成金	継続	簡易分析装置における新規検査方法の検討及び性能評価に関する研究	1,850,000
臨床検査学科	池亀 彰茂	2023	PHC株式会社	その他の助成金	継続	好中球細胞外トラップ食食におけるブレセアシン産生に関する研究	300,000
臨床検査学科	池亀 彰茂	2023	公益信託エム・アイ・ユニー財団記念基金	その他の助成金	新規	単球・マクロファージがNETsを食食時にミエロペルオキシダーゼを介して生じる次亜塩素酸によりブレセアシンが産生される機序の解明	480,000

2023年度研究業績（共同研究（学内））

所属	研究者	年度	研究題目
看護学科	植原千明、井川良子	2023	香川県下の行政保健師の配置及び就業状況に関する研究
看護学科	藤村保志花、伊達歩	2023	一時保護所における感染症対策の実態調査

2023年度研究業績（共同研究（学外））

所属	研究者	年度	研究題目	共同研究先	開始年度
臨床検査学科	多田達史、奥田潤	2023	簡易分析装置における新規検査方法の検討及び性能評価に関する研究	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	2015年度
臨床検査学科	多田達史、木戸久美子	2023	日常生活や医療現場におけるストレスおよびそれを形成する要因	セルスペクト株式会社	2023年度
臨床検査学科	池亀 彰茂	2023	敗血症におけるプレセプシン産生の分子細胞学的機序の解明	株式会社LSIメディアエンス	2020年度

臨床検査学科	岡田仁、小谷野耕佑	2023	光療法の有害事象に関する研究	香川大学小児科	2022年度
臨床検査学科	大栗 聖由	2023	小児神経筋疾患患者の呼吸筋に関する研究	香川大学小児科	2023年度
臨床検査学科	大栗 聖由	2023	LACおよびMACを用いた新規SEP検査手技作成に関する研究	徳島大学脳神経内科	2022年度
臨床検査学科	徳原康哲	2023	新規アミノ酸発色法を用いた臨床検査法の開発	徳島文理大学香川薬学部	2022年度
臨床検査学科	池亀 彰茂	2023	造血器腫瘍における微小残存病変となるバイオマーカーの探索	坂出市立病院	2022年度
看護学科	片山陽子	2023	Exploring the Lived Experiences older Adults Living at Risk	University of Victoria, Canada	2022年度

2023年度研究業績（審議会委員等）

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
臨床検査学科	岡田仁	小児薬物療法認定試験問題作成委員会 委員	2023年11月1日～2024年10月31日
臨床検査学科	岡田仁	香川県自立支援協議会医療的ケア部会 委員	2023年4月1日～2025年3月31日
臨床検査学科	岡田仁	小児科学会香川地方会副会長	2021年4月1日～2024年3月31日
臨床検査学科	岡田仁	日本臨床化学会四国支部会幹事	2017年4月～
看護学科	野口純子	香川県助産師出向推進協議会委員	2023年8月1日～2024年3月31日
看護学科	野口純子	香川母性衛生学会理事	2023年4月1日～2024年3月31日
看護学科	野口純子	一般社団法人日本助産学会代議員	2023年4月1日～2024年3月31日
看護学科	枝川千鶴子	社会福祉法人かがわ総合リハビリテーション事業団評議員	2023年4月～
看護学科	枝川千鶴子	香川県小児保健協会理事	2023年4月～
看護学科	枝川千鶴子	香川県小児救急電話相談事業協議会委員	2024年1月19日～2024年3月31日
看護学科	植原千明	さぬき市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画策定委員	2023年8月1日～2024年3月31日
臨床検査学科	大栗聖由	日本神経生理検査研究会 中国四国支部幹事	2021年4月～
臨床検査学科	大栗聖由	日本臨床神経生理学会代議員	2021年12月～
看護学科	則包和也	看護のための認知行動療法研究会理事	2016年9月～
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床検査医学会 国際委員会委員	2022年3月～2024年3月
臨床検査学科	徳原康哲	PLOS ONE Editorial Board, Academic Editor	2023年3月～
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床化学会 評議員	2023年4月～
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床検査学教育協議会 編集委員会委員	2023年5月～
臨床検査学科	徳原康哲	日本臨床検査同学院 試験実行委員	2023年9月～
看護学科	木戸久美子	香川母性衛生理事	2020年4月～
看護学科	木戸久美子	四国看護学研究会理事	2021年4月～
看護学科	木戸久美子	香川県医療安全推進協議会委員	2020年4月～
看護学科	多田羅光美	（一社）日本精神科看護協会香川県支部幹事	2013年6月～

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
看護学科	森田公美子	香川県ナースセンター事業運営委員会委員	2022年4月～2024年3月
看護学科	植村裕子	香川母性衛生学会 幹事	2006年10月～
看護学科	土岐弘美、森田久美子	香川県専門看護師委員会事務局	2023年4月1日～
看護学科	土岐 弘美	高松市初期集中支援委員	2016年4月1日～
看護学科	土岐 弘美	香川県若年性認知症支援コーディネーター事業アドバイザー	2018年4月1日～
看護学科	土岐 弘美	高知女子大学看護学会誌査読委員	2020年3月1日～
看護学科	土岐 弘美	さぬき男介護友の会顧問	2021年4月1日～
看護学科	土岐 弘美	日本精神保健看護学会誌査読委員	2021年11月1日～
看護学科	土岐 弘美	公益財団法人介護労働安定センターヘルスカウンセラー	2022年4月1日～2023年3月31日
看護学科	土岐 弘美	認知症のひと家族の会 全国研究集会in香川実行委員	2022年1月～2023年10月22日
看護学科	土岐 弘美	香川県認知症施策推進会議委員	2023年4月～2025年3月31日
看護学科	土岐 弘美	香川県地域包括システムケア学会ワーキンググループ委員	2023年5月～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	高松市表彰委員会委員	2022年4月1日～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	さぬき市在宅・介護連携協議会副議長	2019年4月1日～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	香川県国民健康保険団体連合会保険事業評価委員会委員	2018年4月1日～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	高松市健康づくり推進懇談会委員	2018年4月1日～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	高松市健康ビジョン評価策定委員会委員	2022年4月1日～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	日本看護学会学術集会抄録選考委員	2020年4月1日～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	日本こども虐待防止学会実行委員	2023年5月1日～2025年3月31日
看護学科	辻よしみ	香川大学医学部看護学科テュアトラック教員候補者選考委員	2024年1月1日～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	香川県高齢者福祉計画	2023年4月1日～2024年3月31日
看護学科	辻よしみ	全国保健師教育機関協議会中国・四国ブロック理事	2023年4月1日～2025年3月31日
看護学科	藤村保志花	全国保健師教育機関協議会中国・四国ブロック会計	2023年4月1日～2025年3月31日
臨床検査学科	池亀 彰茂	日本臨床衛生検査技師会 精度管理調査（血液分野）ワーキンググループ	2019年4月1日～2025年3月31日

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
看護学科	小林秋恵	日本ニュウロサイエンス看護学会監事	2013年4月1日～
看護学科	岩本真紀	高知女子大学看護学会誌査読委員	2018年4月1日～
看護学科	岩本真紀	香川大学看護学雑誌査読委員	2020年4月1日～
看護学科	片山陽子	香川県医療審議会委員	2020年6月～2024年3月31日
看護学科	片山陽子	香川県看護協会認定看護師教育課程入試委員会委員	2023年4月～
看護学科	片山陽子	香川県立中央病院地域医療支援病院運営委員会委員	2020年6月～2024年3月31日
看護学科	片山陽子	日本エントドオブライフケア学会理事・査読委員	2018年10月～
看護学科	片山陽子	日本在宅ケア学会理事・在宅ケアイノベーション委員・査読委員	2022年9月～
看護学科	片山陽子	日本老年医学会評議員・倫理委員会エントドオブライフケア委員	2017年1月～
看護学科	片山陽子	日本在宅医療連合学会評議員・多職種連携委員会委員・研究委員会委員・和文英文雑誌査読委員	2019年5月～
看護学科	片山陽子	日本看護科学学会査読委員	2021年6月～
看護学科	片山陽子	日本看護研究学会評議員	2017年5月～2024年3月31日
看護学科	片山陽子	日本医療研究開発機構AMED研究課題評価委員	2022年12月～
看護学科	片山陽子	日本ブライマリーケア連合学会看護部会委員	2022年11月～
看護学科	片山陽子	NPO法人Japan Academy of Integrated Care理事	2015年9月～
看護学科	片山陽子	一般社団法人オマハシステムジャパン理事	2016年8月～
看護学科	片山陽子	高齢者の低栄養防止コンソーシアム香川委員	2019年9月～
看護学科	片山陽子	高松市在宅医療介護連携推進会議委員	2013年4月～
看護学科	片山陽子	香川県人生の最終段階の医療ケアの普及啓発事業委員	2020年10月～
看護学科	片山陽子	香川県感染症対策・在宅医療の取り組みに関するWG	2023年12月～
看護学科	片山陽子	杉浦記念財団地域振興研究助成選考委員	2023年7月～
看護学科	片山陽子	全国老人保健施設協会研修委員会委員	2023年10月～
看護学科	片山陽子	厚生労働省老健事業調査研究事業委員	2023年5月～2024年3月31日
看護学科	片山陽子	日本看護協会学会企画委員会委員	2023年6月～

所属	研究者	委員・役員等の名称	就任期間（日）
看護学科	吉本知恵	香川県障害者施策推進協議会委員	2022年8月1日～2024年3月31日
看護学科	吉本知恵	高知女子大学看護学会誌査読委員	2020年3月1日～2024年3月31日
看護学科	吉本知恵	香川大学看護学雑誌査読委員	2023年8月1日～2024年3月31日
臨床検査学科	近藤明宏	香川県臨床検査技師会 外部精度管理調査精度管理委員（血液部門）	2016年4月1日～
臨床検査学科	近藤明宏	香川県臨床検査技師会 支部学術部門員（臨床血液）	2022年6月1日～
看護学科	横溝珠実	東讃保健福祉事務所健康づくり推進協議会委員	2023年6月1日～
看護学科	横溝珠実	日本看護系大学協議会(JANPU)災害支援対策委員会四国ブロック委員	2023年9月1日～
看護学科	横溝珠実	第53回日本女性能心身医学会学会学術集会運営委員	2023年9月1日～
看護学科	横溝珠実	浅口市介護認定審査会委員	2020年4月1日～

2023年度研究業績（動物実験学生実習）

所属	研究者	年度	研究課題名	実習名
臨床検査学科	新美 健太	2023	マウスの解剖および臓器の観察	生物学実験

12. 管理運営

1) 運営会議

回	日 時	審議事項
1	令和5年4月19日	1 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認証制度について
2	令和5年5月2日	1 クリニカルデータサイエンス教育プログラム推進ワーキングチーム設置要項について 2 ワーキングチーム委員について 3 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認証申請について 4 教員募集要項（看護学科 助教 母性看護学・助産学）について 5 教員募集要項（看護学科 教授 基礎看護学）について 6 教員募集要項（看護学科 教授 基礎看護学）について 7 教員募集要項（看護学科 教授 母性看護学・助産学）について 8 教員募集要項（看護学科 助教 在宅看護学）について 9 教員募集要項（臨床検査学科 教授又は准教授 臨床免疫検査学）について
3	令和5年7月18日	1 教員募集要項（看護学科 助教 母性看護学・助産学）について
4	令和5年8月28日	1 教員募集要項（看護学科 准教授又は講師 母性看護学・助産学）について 2 教員募集要項（臨床検査学科 助教 臨床免疫学他）について
5	令和5年10月18日	1 看護学分野別評価の受審について 2 臨床検査学科 学科会議資料について 3 臨床検査学科 学生の動向（就職を含む）について 4 臨床検査学科 教育講演会アンケート集計結果について
6	令和5年12月20日	1 中期ビジョン候補項目案について 2 看護学科 報告資料について 3 看護学科 進路状況について 4 臨床検査学科 学科会議資料について 5 看護学専攻 報告資料について
7	令和6年2月21日	1 基本理念・教育目標及び3つのポリシーの点検について 2 自己点検・評価委員会の位置づけについて 3 研究委員会の所掌事務について

2) 教授会

【定例教授会】

回	日 時	審議事項
1	令和5年4月5日	1 名誉教授の称号授与について 2 助産師学校指定取消しについて 3 授業料等の減免について
2	令和5年4月19日	1 前期授業料の納付猶予申請について 2 共同研究について 3 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認証制度について
3	令和5年5月10日	1 クリニカルデータサイエンス教育プログラム推進ワーキングチーム設置要項について 2 ワーキングチーム委員について 3 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認証申請について 4 教員募集要項（看護学科 助教 母性看護学・助産学）について 5 教員募集要項（看護学科 教授 基礎看護学）について 6 教員募集要項（看護学科 教授 基礎看護学）について 7 教員募集要項（看護学科 教授 母性看護学・助産学）について 8 教員募集要項（看護学科 助教 在宅看護学）について 9 教員募集要項（臨床検査学科 教授又は准教授 臨床免疫検査学）について 10 臨地実習指導者の教授等の称号授与及び委嘱について 11 2024年度（2023年度実施）の大学入学者選抜本学の方針について 12 2024（令和6）年度入学者選抜要項について
4	令和5年5月24日	1 前期授業料の納付猶予申請について
5	令和5年6月21日	1 教員の再任について 2 授業料等減免について 3 教員募集要項（看護学科 助教 母性看護学・助産学）について
6	令和5年7月5日	1 令和5年度後期非常勤講師の変更について 2 2024（令和6）年度入学者選抜要項について 3 共同研究の実施について
7	令和5年7月19日	1 香川県立保健医療大学研究費取扱要綱の改正について 2 教員募集要項（看護学科 助教又は助手 母性看護学・助産学）について
8	令和5年8月2日	1 2024（令和6）年度一般選抜試験実施要領について

回	日 時	審議事項
		2 2024（令和6）年度一般選抜試験学生募集要項について 3 2024（令和6）年度学校推薦型選抜実施要領について 4 2024（令和6）年度学校推薦型選抜学生募集要項について 5 教員募集要項（看護学科 教授 基礎看護学）について
9	令和5年9月6日	1 教員募集要項（看護学科 准教授又は講師 母性看護学・助産学）について 2 教員募集要項（臨床検査学科 助教 臨床免疫学他）について 3 教員募集要項（看護学科 教授 基礎看護学（看護技術論を含む））について 4 休学願について 5 学生の公休に関する申し合わせ事項について 6 非常勤講師選考調書について 7 高度な医療人養成のための地域及び多職種連携型医療教育研究の三大学共同実施に関する協定書について 8 学位規程の改正及び改正に係る香川県使用料、手数料条例の改正について
10	令和5年10月4日	1 退学願について 2 令和5年度後期授業料の減免等について
11	令和5年10月18日	1 教員（看護学科 基礎看護学（看護の概論を含む）教授）の選考について 2 教員（看護学科 在宅看護学 助教）の選考について 3 教員（臨床検査学科 臨床免疫検査学 准教授）の選考について 4 令和5年度後期授業料の納付猶予申請について
12	令和5年11月1日	1 教員（看護学科 母性看護学・助産学 助手）の選考について 2 退学願について 3 2024（令和6）年度学校推薦型選抜入学試験 説明会配布資料について
13	令和5年11月15日	1 看護学分野別評価の受審について
14	令和5年12月6日	1 教員（臨床検査学科）の再任について 2 教員（看護学科）の昇任について 3 香川県立保健医療大学教員定年規程の改正について 4 令和6年度非常勤講師の任用について
15	令和5年12月20日	1 教員（看護学科 母性看護学・助産学 准教授又は講師）の選考について

回	日 時	審議事項
		2 教員（臨床検査学科 臨床免疫検査学 助教）の選考について
16	令和6年1月24日	1 副学長、学生部長、図書館長、研究科長の指名について 2 卒業・修了判定について 3 実習指導助手について 4 後期授業料の減免等について 5 一般選抜入学試験（前期・後期）説明会配布資料について 6 2025年度（2024年4月～2025年3月実施）入学試験実施計画（案）について 7 2026（令和8）年度入学者選抜試験における変更について
17	令和6年2月7日	1 学科長・専攻長の指名について 2 2024（令和6）年度学校推薦型選抜入学試験（臨床検査学科：最終合格）の合否判定について 3 学長賞について 4 保健室及び学生相談室運営要綱の一部改正及び学生相談室運営要綱の新設について
18	令和6年3月6日	1 令和5年度進級判定について 2 退学・休学願について 3 客員教授について 4 実習指導助手の任用について 5 学内委員会等委員について
19	令和6年3月15日	1 2024（令和6）年度一般選抜入学試験（後期日程）の合否判定について 2 休学願について

【臨時教授会】

回	日 時	審議事項
1	令和5年12月13日	1 2024（令和6）年度学校推薦型選抜入学試験の合否判定について
2	令和6年2月28日	1 2024（令和6）年度一般選抜入学試験（前期日程）の合否判定について 2 令和6年度非常勤講師（追加）について

3) 研究科委員会

【定例研究科委員会】

回	日 時	審議事項
1	令和5年4月5日	1 復学願について

回	日 時	審議事項
		2 修士論文研究計画書の審査結果について 3 修了生の奨学金返還免除について 4 ティーチング・アシスタントの選考について
2	令和5年5月24日	1 令和5年度研究科担当教員の選考について 2 2024年度入学者選抜方法等の概要について 3 2024年度看護学専攻（博士前期課程）研究コース 入学試験実施要領について 4 2024年度看護学専攻（博士前期課程）実践者養成コース 入学試験実施要領について 5 2024年度看護学専攻（博士後期課程）入学試験実施要領について 6 2024年度臨床検査学専攻（博士前期課程）入学試験実施要領について 7 2024年度臨床検査学専攻（博士後期課程）入学試験実施要領について
3	令和5年6月21日	1 令和5年度研究指導教員及び課題研究論文題目について
4	令和5年7月5日	1 2024（令和6）年度大学院学生募集要項について
5	令和5年8月2日	1 修士論文審査に係る修士論文審査委員の選出について
6	令和5年9月6日	1 大学院9月修了判定について 2 休学願について 3 博士後期課程 博士論文研究計画書に係る研究計画書審査委員の選出について 4 保健医療学研究科 研究指導教員及び博士論文題目一覧表について
7	令和5年10月4日	1 大学院入学試験 説明会配布資料について 2 大学院入学試験にかかる出願資格審査について 3 研究計画書の審査結果について
8	令和5年11月1日	1 2024（令和6）年度入学試験の可否判定について 2 大学院研究科担当教員資格審査規程等の一部改正について 3 博士論文研究計画書に係る研究計画書審査委員の選出について
9	令和5年12月6日	1 大学院研究科担当教員資格審査における教育研究業績判定基準の改正について 2 研究計画書審査結果報告書について 3 課題研究論文審査に係る論文審査委員の選出について
10	令和6年1月10日	1 大学院看護学専攻実践者養成コース修了判定について 2 科目担当教員の選考について 3 研究計画審査結果報告書について

回	日 時	審議事項
		4 令和6年度非常勤講師の任用について 5 休学願について
1 1	令和6年2月7日	1 保健医療学研究科授業科目・特別研究科目担当教員資格審査について 2 長期履修について 3 3月修了修士論文審査に係る論文審査委員の選出について 4 令和6年度9月修了大学院博士後期課程学位取得までのスケジュールについて
1 2	令和6年3月6日	1 令和5年度大学院3月修了判定について 2 休学願について 3 令和6年度客員教授について 4 令和6年度実習指導助手について 5 ティーチング・アシスタントの選考について

【臨時研究科委員会】

回	日 時	審議事項
1	令和5年4月19日	1 令和5年度 研究指導教員及び修士・博士論文題目について

4) 学内委員会

【総務企画委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年6月1日	1 大学認証評価 基準1に係る点検評価ポートフォリオについて
2	令和5年7月18日	1 香川県立保健医療大学研究費取扱要綱の改正について 2 大学認証評価 係る点検評価ポートフォリオについて
3	令和5年8月28日	1 大学認証評価 係る点検評価ポートフォリオについて
4	令和5年10月3日	1 大学認証評価 係る点検評価ポートフォリオについて
5	令和5年11月15日	1 大学認証評価 係る点検評価ポートフォリオについて
6	令和5年12月20日	1 大学認証評価 係る点検評価ポートフォリオについて 2 ホームページの改修について
7	令和6年1月24日	1 大学認証評価 係る点検評価ポートフォリオについて 2 ホームページの改修について
8	令和6年2月21日	1 大学認証評価 係る点検評価ポートフォリオについて
9	令和6年3月19日	1 大学認証評価 係る点検評価ポートフォリオについて 2 令和4・5年度学内委員会等活動状況報告書について 3 大学HPの改修について

【毒劇物等・廃棄物専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年8月9日	1 毒劇物等の管理等委任簿の確認について 2 毒劇物等の定期検査の実施について 3 廃液等の処理について 4 有害物質使用特定施設定期点検について 5 その他

【動物実験専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年10月24日	1 動物実験計画書について 2 その他
2	令和6年3月11日	1 動物実験計画書について 2 その他

【遺伝子組換え実験安全委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年9月6日	1 遺伝子組換え実験計画申請について
2	令和5年10月16日	1 遺伝子組換え実験計画申請について
3	令和5年11月21日	1 遺伝子組換え実験計画申請について

【教務委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年5月1日	1 年間計画について 2 令和5年度前期履修登録について 3 臨地教授等の称号及び臨地実習指導者の委嘱について 4 特別講義について
2	令和5年5月23日	1 前期試験、点数配信及び後期履修登録について 2 臨床検査学科教育講演会について 3 令和5年度後期講義室の割り振りについて 4 特別講義について
3	令和5年6月26日	1 後期教科書販売について（教科書販売担当） 2 令和5年度前期試験について 3 令和5年度後期非常勤講師の変更について 4 シラバスの書式について 5 令和6年度学年暦（案）について
4	令和5年8月1日	1 後期履修登録状況について 2 追試験受験願について 3 シラバス（成績評価方法）について 4 時間割変更手順について

回	日 時	審議・報告事項
		5 前期履修登録取得漏れについて 6 公休の取扱いについて
5	令和5年8月26日	1 前期試験状況について（途中報告） 2 令和5年度後期履修登録状況について（追加報告） 3 休学について 4 学生の公休に関する申合せ事項について 5 令和5年度後期非常勤講師の任用について（臨検2年「高感度分析検査学」・「高感度分析検査学実習」） 6 特別講義について
6	令和5年9月25日	1 令和5年度下半期教務スケジュールについて 2 令和6年度時間割について 3 令和6年度シラバスについて 4 令和5年度単位互換科目（通常科目）の照会について 5 特別講義について 6 令和5年卒業式および令和6年度入学式の日程について
7	令和5年10月23日	1 令和5年度後期履修登録の状況について 2 シラバス入力について（入力注意事項、DPとの関連） 3 令和6年度単位互換開講科目について 4 特別講義について 5 退学願について
8	令和5年11月27日	1 卒業・修了判定及び進級判定の日程について 2 学長賞候補予備選考について 3 令和6年度非常勤講師一覧について（最終確認） 4 特別講義について 5 学外授業について 6 実習における個人情報に関する誓約書について 7 新年度ガイダンスについて
9	令和5年12月25日	1 卒業式・修了式について 2 令和6年度教科書販売について 3 ティーチングアシスタント配置希望科目申請書について 4 実習における個人情報に関する誓約書について（修正案） 5 令和6年度シラバス印刷発注について 6 令和6年度「教養講座・香川」（臨検1年）の時間数の変更について 7 新年度ガイダンス 8 学外授業について 9 追試験受験願について
10	令和6年1月22日	1 令和6年度実習指導助手の任用について（新規） 2 卒業判定・修了判定について

回	日 時	審議・報告事項
		3 学長賞（成績優秀者本選考）について 4 令和6年度入学式について 5 新年度ガイダンスについて（最終確認） 6 令和6年度学年暦について 7 追試験受験願について 8 健康食品管理士養成校認定更新について
1 1	令和6年2月26日	1 令和6年度実習指導助手の任用について（新規） 2 令和6年度非常勤講師について（追加） 3 令和6年度客員教授について 4 令和6年度履修登録について 5 令和6年度前期時間割について（最終確認） 6 特別講義について 7 期末試験実施状況について 8 進級判定について 9 退学・休学願について
1 2	令和6年3月25日	1 令和6年度入学式について 2 令和6年度後期時間割表について（最終確認） 3 期末試験に係る周知事項について 4 特別講義について 5 復学願について 6 後期復学者への対応について 7 ポートフォリオについて 8 成績評価周知について

【学生委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和5年4月24日	1 後援会だよりについて 2 健康診断について 3 新入生研修会及び新入生歓迎会の報告について 4 令和4年度学生相談の報告について 5 弁当・パン販売の現状について 6 学生・教員連絡会議について 7 サークル活動及び食堂の感染防止対策について 8 後援会会員からの声について 9 その他
2	令和5年6月14日	1 授業料減免について 2 大学祭について 3 令和4年度保健室利用状況について 4 学生団体（サークル）について

		5 その他
3	令和5年9月21日	1 令和5年度授業料減免について 2 大学祭について 3 学生相談室運営マニュアルの策定について 4 ワクチン接種助成と抗体検査測定について 5 令和5年度全国公立大学学生大会について 6 サークル助成（図書サークル）について 7 後援会実施の卒業記念事業について 8 令和5年度DV予防啓発講演会について 9 その他
4	令和5年12月14日	1 令和6年度の修学支援新制度の改正等について 2 ワクチン接種費用助成要綱の改正について 3 学生相談室運営要綱の策定について 4 学長賞について 5 学生・教員連絡会議の開催について 6 新入生研修会・交流会について 7 新入生ガイダンスについて 8 消費者啓発リレー講座について 9 学生便覧について 10 令和5年度DV予防啓発講演会の実施状況について 11 その他

【入試委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年5月1日	1 2024年度の大学入学者選抜方法について 2 2024年度入学者選抜要項について 3 2024年度 大学院入学者選抜方法等の概要について 4 2024年度 大学院入学試験実施要領について 5 令和6年度入試に係る救護担当教員及び採点確認教員について 6 令和6年度入学試験実施予定日について 7 3親等以内の親族の受験予定について 8 令和4年度・令和5年度入試委員会活動計画について
2	令和5年6月28日	1 大学院学生募集要項について 2 2024年度入学試験実施計画について 3 2024年度入学者選抜要項について
3	令和5年7月24日	1 2024年度 学校推薦型選抜実施要領について 2 2024年度 学校推薦型選抜学生募集要項について 3 2024年度 一般選抜実施要領について 4 2024年度 一般選抜学生募集要項について

回	日 時	審議・報告事項
4	令和5年9月29日	1 2024年度 大学院入学試験説明会配布資料について
5	令和5年10月30日	1 2024年度 学校推薦型選抜入学試験説明会配付資料について
6	令和6年1月22日	1 一般選抜入学試験(前期・後期日程)説明会について 2 2024年度一般選抜入学試験における在校生及び受験生への対応について 3 入学試験合格者(臨床検査科学)への入学前教育について 4 一般選抜入学試験の追試験への対応について 5 2025年度入学試験実施計画について 6 過去問題の閲覧について(令和6年度) 7 2026(令和8)年度入学者選抜試験における変更について

【図書委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年5月19日	1 令和5年度図書委員会・雑誌編集委員 目的、目標、活動内容について 2 令和5年度図書委員会年間計画表(タイムスケジュール)について 3 図書館資料収集方針について 4 令和5年度選書方法について 5 研究費・教材費で購入した資料の除籍について 6 令和4年度除籍分(1冊)取り消しについて 7 蔵書点検日について 8 令和4年度決算・令和5年度予算について 9 令和4年度学外来館者集計結果について 10 令和4年度蔵書(閉架)点検作業結果報告 11 図書館利用統計について 12 令和4年度図書サークル・ビブリア活動報告、令和5年度活動計画について 13 令和4年度卒業生アンケートについて 14 第15巻 大学雑誌編集スケジュールについて 15 第15巻 投稿予定者アンケートについて
2	令和5年7月3日	1 令和5年度予算未確定分金額決定について 2 開架図書の配架場所変更について 3 蔵書点検アルバイトの採用について 4 視聴覚資料・洋図書のリクエスト受付について 5 図書サークルビブリアの活動報告について 6 令和5年度図書館カレンダーの変更について 7 廃棄本の提供について

		8 令和5年度除籍方針(案)について経過報告 9 図書館AVコーナーのDVDビデオデッキについて 10 大学雑誌投稿予定アンケート結果について
3	令和5年9月14日	1 データベースAus trlia&NewZealand News s t eamのトライアルについて 2 令和6(2024)年度データベースの購入について 3 令和6(2024)年度和雑誌、新聞の購入について 4 令和6(2024)年度厚生統計協会賛助会会員継続につ いて 5 洋書、視聴覚リクエスト状況と視聴覚の購入時期に ついて 6 大学雑誌15巻編集スケジュールについて 7 大学雑誌査読者・編集委員(体裁)チェック者の決定 について 8 研究費・教材費で購入した図書の扱いについて 9 教員への欠号雑誌提供の呼びかけについて 10 看護図書館協会主催の重複雑誌交換会について 11 蔵書点検結果報告 12 図書館閉架図書配置変更について(第2回委員会提案 から一部変更) 13 ビデオテープ除籍(廃棄)計画について 14 除籍対象にする資料について 15 和雑誌の製本日程について 16 図書サークルビブリアの活動について 17 機関リポジトリソフトウェアWEK02からWEK03への移 行について 18 令和5年度図書館開館カレンダーの変更について 19 2022年度貸出ベストについて 20 大学雑誌15巻編集スケジュールについて 21 大学雑誌査読者・編集委員(体裁)チェック者の決定 について
4	令和5年12月21日	1 視聴覚資料の購入について 2 令和5(2023)年度除籍対象資料について 3 令和6(2024)年度和雑誌、図書の購入について 4 データベース新規購入について 5 Instagramの図書館アカウント取得について 6 利用者アンケートについて 7 令和5(2023)年度図書館開館カレンダーの変更につい て 8 閉架図書の蔵書点検日程について

		9 令和4(2023)年分発行の製本雑誌について 10 図書サークルビブリアの活動報告について 11 図書館システム入替について 12 図書館職員が参加した大会・研修等について 13 グループ学習室、個人学習室(手前)のドアクローザー故障について 14 北側閲覧席備え付けテーブルスタンド1台の故障について 15 グループ学習室への空気清浄機1台の設置について 16 大学雑誌第15巻の掲載順について 17 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)からの大学雑誌著者抄録利用許諾依頼について 18 大学雑誌第15巻の体裁について
5	令和6年2月1日	1 令和6(2024)年度図書館カレンダーについて 2 令和6(2024)年度和雑誌(一般雑誌)の購入について 3 図書館所蔵資料の除籍について 4 図書館資料(研究費・教材費で購入)の除籍について 5 個人学習室(手前)のドアクローザー故障について 6 和雑誌の休刊について 7 大学雑誌第15巻の進捗状況について
6	令和6年3月4日	1 除籍した図書の配布について 2 学内者用図書館利用案内の記載事項変更について 3 図書館所蔵資料と研究費・教材費で購入した資料の除籍について 4 百科事典除籍後の扱いについて 5 図書サークルビブリアの活動について 6 国際交流委員会からの寄贈図書について 7 北側閲覧席備え付けテーブルスタンドの故障について 8 次年度図書館ガイダンス及び文献検索講座の日程について 9 大学雑誌第15巻の進捗状況について 10 令和5年度の振り返りと次年度に向けての課題

【情報ネットワーク委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和6年2月8日	1 情報ネットワークシステム及びパソコン等の更改にかかる総括について 2 その他

【FD・SD委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和5年4月17日	1 授業評価マニュアルの修正確認について 2 看護学科の別紙追加修正の確認について 3 その他
2	令和5年8月31日	1 FD・SD講演会の企画運営について 2 授業評価について 3 ティータイム教育サークルの企画の検討 3 その他
3	令和5年10月26日	1 FD・SD講演会の企画評価 2 後期ティータイム教育サークルの企画検討 3 授業評価 4 その他
4	令和6年1月26日	1 令和6年度SPOD講師派遣事業の希望調査について 2 令和5年度ティータイム教育サークルについて 3 授業評価（前期）の振り返りについて 4 その他
5	令和6年3月11日	1 授業評価（後期）の集計結果について 2 ティータイム教育サークルの振り返りについて 3 その他

【広報・公開講座委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年4月12日	1 令和5年度年間活動方針、広報計画及び年間行事予定表について 2 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について 3 オープンキャンパスの開催計画について 4 公開講座の開催計画について 5 その他
2	令和5年5月12日	1 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会の開催計画について 2 公開講座の開催計画について 3 オープンキャンパスの開催計画について 4 その他
3	令和5年6月27日	1 オープンキャンパスの開催について 2 公開講座の開催について 3 広報誌 HANDs vol. 31 について 4 ミニオープンキャンパスの開催について 5 高等学校の先生方への大学紹介・入試説明会開催報告について 6 その他
4	令和5年9月4日	1 オープンキャンパスの開催報告について 2 第1回公開講座の開催報告について

		3 第2回公開講座の開催について 4 ミニオープンキャンパスの開催について 5 その他
5	令和5年11月28日	1 ミニオープンキャンパスの開催報告について 2 第2回公開講座の開催報告について 3 大学広報誌 HANDs (vol. 32) について 4 令和6年度広報計画について 5 大学認証評価について 6 その他
6	令和6年1月30日	1 進学ガイダンス等の参加状況について 2 令和5年度広報計画の振り返りと令和6年度広報計画(案)について 3 令和6年度行事日程(案)について 4 令和4・5年度の活動の振り返り 5 その他

【研究委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年4月28日	1 e-ラーニングについて 2 科学研究費助成事業について 3 学内研究報告会について 4 その他

【国際交流委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年6月6日	1 令和4・5年度国際交流委員会活動計画について 2 国際交流アンケートの結果について 3 国際交流特別講義について 4 CASEC の実施/事前準備について 5 同窓会による大学支援費について 6 その他

【三大学連携推進委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年4月27日	1 令和5年度 推進体制について 2 令和5年度 事業実施について 3 三大学間多職種連携医療教育の推進に関する協定書について

【進路支援委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年5月8日	1 令和4・5年度進路支援委員会活動計画書について 2 令和5年度年間計画について

		3 研修（公務員試験対策講座実施）について 4 県内就職促進について 5 就職に関する指定校推薦の事務手順の修正
2	令和6年2月29日	1 令和5年度年間計画実施報告 (1) 令和4・5年度進路支援委員会活動報告 (2) 研修報告 (3) 今後の課題 2 令和5年度の進路内定状況 3 令和6年度年間計画案

【倫理審査委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年4月26日	1 倫理審査申請書の審査について
2	令和5年5月31日	1 倫理審査申請書の審査について
3	令和5年7月26日	1 倫理審査申請書の審査について
4	令和5年9月27日	1 倫理審査申請書の審査について
5	令和5年11月22日	1 倫理審査申請書の審査について
6	令和6年1月31日	1 倫理審査申請書の審査について
7	令和6年2月28日	1 倫理審査申請書の審査について 令和6年度 倫理審査委員会・利益相反審査委員会開催日程

【利益相反審査委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年7月26日	1 利益相反審査申請書の審査について
2	令和5年9月27日	1 利益相反審査申請書の審査について

【衛生委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年5月18日	1 健康診断結果について 2 ストレスチェック集団分析結果について 3 委員会の運営及び年間計画について 4 職場巡視について 5 ヘルスアップセミナー講師派遣事業について 6 新型コロナウイルス感染症対策について
2	令和5年5月	1 職場巡視実施結果報告（4月分）
3	令和5年6月	1 職場巡視実施結果報告（5月分）
4	令和5年7月	1 職場巡視実施結果報告（6月分）
5	令和5年7月24日	1 衛生委員による職場巡視
6	令和5年8月	1 職場巡視実施結果報告（7月分）

7	令和5年9月	1 職場巡視実施結果報告（8月分）
8	令和5年9月20日	1 ヘルスアップセミナー
9	令和5年10月	1 職場巡視実施結果報告（9月分）
10	令和5年11月	1 職場巡視実施結果報告（10月分）
11	令和5年12月	1 職場巡視実施結果報告（11月分）
12	令和5年1月	1 職場巡視実施結果報告（12月分）
13	令和5年2月	1 職場巡視実施結果報告（1月分）
14	令和5年3月	1 職場巡視実施結果報告（2月分）

【防火等管理委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年11月8日	1 令和5年度防災訓練の実施内容について 2 消防計画書について 3 その他

【地域連携推進センター運営委員会】

回	年月日	審議・報告事項
1	令和5年4月13日	1 担当割り当てについて 2 採択事業について 3 健康サポーター養成講座について 4 地域連携推進センター事業の日程調整について 5 その他
2	令和5年5月31日	1 採択事業について 2 担当割り当てについて 3 ライフサイエンス教室について 4 健康サポーターの募集について 5 各事業評価について 6 その他
3	令和5年10月11日	1 大学祭の役割分担について 2 フィールド活動の報告について 3 その他
4	令和5年12月21日	1 採択事業の追加募集について 2 令和5年度実績報告について 3 令和6年度広報計画について 4 委員会のペーパーレス化について 5 その他
5	令和6年2月8日	1 大学認証評価（地域連携分）について 2 大学認証評価に向けたホームページ（地域連携分）の改修について 3 2022・2023年度活動状況報告書について

		4 その他
--	--	-------

【研究科専門委員会】

回	日 時	審議・報告事項
1	令和5年4月4日	1 修士論文研究計画書の審査結果について 2 その他
2	令和5年4月13日	1 令和5年度研究指導教員及び修士・博士論文題目について 2 令和5年度修士論文中間報告会に関する実施要領について 3 特別講義について 4 その他
[1]	令和5年5月17日	第1回保健医療学研究科授業科目・特別研究科目担当教員資格審査
3	令和5年5月17日	1 特別講義について 2 2023年度9月修了について 3 令和5年度実践者養成コース中間報告会について 4 その他
4	令和5年6月14日	1 特別講義について 2 令和5年度看護学専攻実践者養成コース研究指導教員及び課題研究論文題目について 3 大学院後期の履修登録について 4 その他
5	令和5年7月28日	1 9月修了修士論文審査に係る修士論文審査委員の選出について 2 9月修了論文発表会（最終試験）の要領について 3 特別講義について 4 第7回臨床検査学専攻博士後期課程学術セミナーについて 5 その他
6	令和5年8月23日	1 看護学専攻博士後期課程の研究計画審査委員の選出について 2 休学について 3 看護学専攻博士後期課程学術セミナーについて 4 臨床検査学専攻研究指導教員及び博士論文題目について 5 香川県立保健医療大学学位規程の改正及び改正に係る香川県使用料、手数料条例の改正について 6 その他
7	令和5年9月27日	1 特別講義について 2 研究科担当教員資格審査規程及び研究指導教員等に係る

		規定の一部改正について 3 その他
8	令和5年10月23日	1 研究科担当教員資格審査規程の一部改正について 2 博士論文研究計画書に係る研究計画審査委員の選出について 3 令和6年度教授要項・大学院ガイドの作成について 4 特別講義について 5 その他
9	令和5年11月29日	1 特別講義について 2 担当教員資格審査における教育研究業績判定基準について 3 課題研究論文発表会（最終試験）要領について 4 その他
[2]	令和6年12月12日	第2回保健医療学研究科授業科目・特別研究科目担当教員資格審査
10	令和5年12月12日	1 休学について 2 修士論文研究計画書に係る研究計画審査委員の選出について 3 令和6年度保健医療学研究科非常勤講師就任依頼について 4 その他
11	令和5年12月27日	1 令和5年度卒業式・修了式について 2 ティーチング・アシスタントの配置希望科目の設置について 3 修士論文研究計画書の審査結果について 4 保健医療学研究科3月修了論文発表会（最終試験）要領について 5 その他
[3]	令和6年2月2日	第3回保健医療学研究科授業科目・特別研究科目担当教員資格審査
12	令和6年2月2日	1 長期履修について 2 3月修了修士論文審査に係る論文審査委員の選出について 3 令和6年度保健医療学研究科授業科目について 4 令和6年度9月修了大学院博士後期課程学位取得までのスケジュール 5 令和6年度学年歴について 6 特別講義について 7 課題研究論文研究計画書に係る研究計画審査委員の選出

		9 大学院のカリキュラムについて 10 その他
1 3	令和6年2月29日	1 令和6年度実習指導助手について 2 客員教授について 3 休学について 4 課題研究論文計画書に係る研究指導教員の選出について 5 令和6年度保健医療学研究科の行事予定について 6 令和6年度入学式ガイダンスについて 7 保健医療学研究科の基本理念・3つのポリシーについて 8 令和5年度特に優れてた業績による返還免除候補者の推薦について 9 令和5年度大学院修了者へのアンケート結果について 10 その他
1 4	令和6年3月26日	1 課題研究論文研究計画書の審査結果について 2 特別講義について 3 申し合わせ事項の廃止について 4 実践者養成コースの研究指導教員について 5 その他